

<2025年度>

第6回理事会議案書

2025年 11月 18日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第6回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 割烹 萬 麟

日 時： 2025 年 11 月 18 日 (火)
15:00~17:30

1. 開会の辞
2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)
3. 会長挨拶
4. 前回理事会議事録の確認
5. 審議事項
第 1 号議案 賛助会員新規入会の件 ----- [理 25-6-議 1] (p3-)
6. 報告事項
 - (1) 2026 年賀詞交歓会実施について ----- [理 25-6-報 1] (p7)
 - (2) 委員会等活動状況報告
 - ① 運営委員会 ----- [理 25-6-報 2①] (p8-)
 - ② 技術委員会 ----- [理 25-6-報 2②] (P10-)
 - ③ 一次加工品質管理 WG ----- [理 25-6-報 2③] (p14-)
 - ④ 外部団体との意見交換会対応 WG ----- [理 25-6-報 2④] (p17-)
 - (3) 管理者の届出について ----- [理 25-6-報 3] (p19-)
 - (4) 工場認定条件の保持状態の確認について ----- [理 25-6-報 4] (p25)
 - (5) 支部からの要望について ----- [理 25-6-報 5] (p26)
 - (6) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について ---- [理 25-6-報 6] (p27)
 - (7) その他
 - ① 要望活動 (共同陳情) の議事録について----- [理 25-6-報 7①] (口頭)
 - ② 日銀調査への協力要請について ----- [理 25-6-報 7②] (p28-)
 - ③ 全構協ホームページの見直しについて ----- [理 25-6-報 7③] (P31-)
7. その他の定例報告事項
 - (1) 構成員登録状況 ----- [理 25-6-他 1] (p34-)
 - (2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 25-6-他 2] (p39)
 - (3) 2025 年度主要会議日程 ----- [理 25-6-他 3] (p40)
 - (4) 支部報告 ----- [理 25-6-他 4] (p41-)
8. 閉会の辞

以上

第1号議案 賛助会員新規入会承認の件

コンドーテック株式会社とローバル株式会社より、賛助会員として入会希望がありましたので、定款第6条第1項に基づき入会を承認いただきたい。

以上

【理25-6-議1】

賛助会員の新規入会について

◎ 新規入会(希望)会社 概要

| | | |
|-------------------|---|--|
| 会社名 | コンドータック株式会社 | ローバル株式会社 |
| 設立 | 1953年(昭和28年)1月14日 | 1961年(昭和36年)1月6日 |
| 資本金 | 26億6,648万5千円 | 1,500万円 |
| 従業員数 | 815名(単体) 1,423名(連結) | 30名 |
| 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・金物小売業を中心に、産業資材を製造・仕入・販売 ・鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入・販売 ・電気工事業者や家電小売店向けに、電設資材を仕入・販売 ・工務店や中堅ゼネコン向けに、足場架組工事及び仮設足場機材を仕入・販売・レンタル | ジンクリッチペイント (高濃度亜鉛末塗料)の製造、 および関連化学品等の販売 |
| 本社、製造拠点 支店等他拠点 | 本社 : 大阪市 東京本社 : 東京都江東区 営業所 : 49拠点 工場 : 4拠点 (九州、滋賀、関東、札幌) | 本社 : 大阪市 工場 : 大阪府枚方市 |
| 備考 | | |

賛助会員 入会申込書

2025年 10月 8日

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井毅 殿

所在地 〒550-0024
大阪市西区境川2丁目2番90号

会社名 コンドーテック株式会社

代表者 代表取締役社長 濱野 昇
役職・氏名



電話番号 06-6582-9581

今般、下記事項記載の上、一般社団法人全国鐵構工業協会の賛助会員として入会を申し込みます。

記

1. 資本金額 2,666,485千円
2. 生産又は
主要取扱品目 ターンバックル、チエン、建築金具、ねじ
3. 主要取引銀行 三菱UFJ銀行
4. 連絡窓口
担当部署・局名 営業本部 営業推進課
担当者役職 _____
担当者氏名 松下 晴菜
〒550-0024
住 所 大阪市西区境川2丁目2番90号
電話番号 06-6582-9581
FAX番号 06-6582-9578
E-Mailアドレス h-matsushita@kondotec.co.jp

以上

賛助会員 入会申込書

2025年 10月 1日

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井 毅 殿

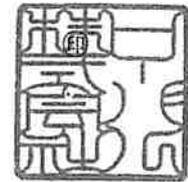
所在地 〒541-0041
大阪府大阪市中央区北浜 1-1-21 第二中井ビル6F

会社名 ローバル株式会社

代表者 代表取締役 田中 孝篤

役職・氏名

電話番号 06-6228-3631



今般、下記事項記載の上、一般社団法人全国鐵構工業協会の賛助会員として入会を申し込みます。

記

1. 資本金額 ¥15,000,000-

2. 生産又は
主要取扱品目 高濃度亜鉛末塗料 ローバル

3. 主要取引銀行 三菱UFJ銀行

4. 連絡窓口

担当部署・局名 技術サービス部

担当者役職 課長

担当者氏名 遠嶋 良輔

住 所 大阪府枚方市野村元町 1-1

電話番号 072-894-7590

F A X 番号 072-894-7593

E-Mail アドレス gisa@roval.co.jp

以上

報 告 事 項

【理25-6-報1】

2026年新年賀詞交歓会〔1月16日（金）〕 当日のスケジュール（案）

1. 場 所 鉄鋼会館
〔 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
TEL 03-3669-4856 〕

2. 時 間 割

| | | |
|------------|-----------------------|------------------|
| (1) 三 役 会 | 9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0 | 第一会議室（全構協） |
| (2) 理 事 会 | 1 1 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0 | 8 0 2 - 8 0 3 号室 |
| (3) 全国理事長会 | 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 | 8 0 1 号室 |

[次 第]

[進行：平井事務局長]

① 会長挨拶 14 : 00-14 : 10

② 事業報告等 14 : 10-16 : 00
(各説明：10～20分)

| | |
|---------------|-----|
| * 運営委員会 | 20分 |
| * 技術委員会 | 15分 |
| * 委員会・WG活動 | 10分 |
| * 特定技能外国人材 | 15分 |
| * 全国鉄骨評価機構 | 20分 |
| * 鉄骨技術者教育センター | 10分 |
| * その他 | 5分 |
| ◎ 質疑 | 15分 |

(4) 新年賀詞交歓会 16 : 30 ~ 18 : 00 901号室

[次 第]

[進行：総務部 滝本部長]

① 会長挨拶 (一社)全国鐵構工業協会 会 長 永 井 毅

② 来賓挨拶 参議院議員 見 坂 茂 範 様
経済産業省 製造産業局金属課長 鍋 島 学 様
国土交通省 住宅局 参事官 高 木 直 人 様

③ 乾 杯 (一社)全国鐵構工業協会 副会長 大 竹 良 明

④ 中 締 (一社)全国鐵構工業協会 副会長 板 垣 昌 之

以 上

【理25-6-報2①】

2025年度 第5回 運営委員会 議事要旨

- 1 日時 2025年11月4日(火) 14:00-17:00
- 2 場所 全構協第1会議室
- 3 出席者 委員 妹尾委員長・猪股副委員長・松枝副委員長
松田・川上・松尾・倭島・渡辺・原田各委員
高田委員(web出席)
- 全構協 滝本・木村・大原

4 議事次第

(1) 委員長挨拶

(2) 報告事項

- ・ 生命共済、損害保険勉強会実施報告
(9/18:近畿・四国、10/21:北海道、10/31:北陸)
他支部の勉強会を視察したい(松尾、松田、猪股)
直接参加するか、録画(録音)して共有するか、確認する
(支部事務局に意向を事前に伝えておく)
※残り開催予定
12/ 5:中国支部、12/18:九州支部、2月頃:東北支部
2/26:関東支部、 3/27:中部支部

(3) 検討事項

- ・ すまいる職場認定制度
(テスト回答集計報告/チェックリスト修正箇所確認)
テスト回答結果を共有、猪股リーダーの方で精査し
チェックシート(修正版)をメンバーに共有する
- ・ 大同生命「どうだい?」『7万人の社長がつながる?』
検討した結果、インセンティブを踏まえた取扱い(導入)は見送り
全構協から構成員(組合)に紹介する程度に留めることで一致
- ・ 工場労災リスクの診断(東京海上) ※損害保険追加資料
(今後開催の)勉強会の追加資料として共有
※再度全員に資料を送付する

- ・ 2026年度の人づくり研修の実施有無
⇒ 行うなら、遅くとも3月末には以下の整理(意思決定)が必要
 - ・ ターゲット層(現状のままで良いか?)
 - ・ 内容は? (もう少し高度化? 現状維持?)2026年度は基本、人づくり研修を「継続」開催する方向で
次回委員会(12/8)で初回(中部)、2カ所目(東北)、3カ所目(九州)
3支部の上長アンケート集計を見て、最終結論を出す

(4) 追加検討事項

1) RJグレードからの参加について(検討依頼)

『昨年度、本年度も、RJからの参加が少ない。真に業界の底上げを行うのであれば、RJも多く参加できる方策を講じるべき。』

素案： 2025年度に試行として、RJ研修を1～2箇所で開催
人数は数名でOK。1日限り？ 懇親会なし？ 講師は？

RJ向け研修(案)に「リーダー研修」の要素も加える形で検討
※妹尾、松枝、稲垣、溝口(F&M)の4名で検討を進める

追加検討事項

2) 追加諮問について(事前共有)

- ・ 経緯説明(当時のWG立ち上げ、検討)
- ・ 緊急アンケート結果共有(運営委員に課題抽出)
- ・ 検討事項
 - ・ ヒト(検討スキーム発足・具体作業着手)
 - ・ モノ(資料改定：簡単に)
- ・ 現行委員の任期中に、上記ヒト・モノは、完遂

諮問を受けるにあたって、三役に確認すべきことを抽出

※三役会(理事会)で確認する

5 その他 12月8日(月) 13:00-15:00/分科会1、15:00-17:00/運営委員会

最終確認として、次回は12月8日開催で決定

移動委員会については、次回(12/8)開催場所を決める

【理25-6-報2②】

〈 2024～2025 年度 〉

第 9 回 技術委員会 議事録案

1. 日 時 2025年10月22（水）14：00～17：00
2. 場 所 全構協会議室
3. 出席者 岩永委員長、舩山副委員長、西山副委員長
成澤、今泉、和田、佐野、山本、谷本、川野 各委員
（事務局）安藤、齋藤

4. 議事次第 資料No.

- 1) 委員長挨拶
- 2) 前回議事録の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 1
- 3) 技術委員会での検討事項について
 - ① **S造化の推進**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 2-1～2-5
 - ・鉄連への報告について（報告資料及び日程の確認）
 - ・今後の進め方協議
 - ② **機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討**・・・・ No. 3-1～3-3
 - ・CADメーカーへのヒアリング；メーカーの選定と日程調整、資料の確認
 - ・今後の進め方協議
 - ③ **溶接施工 WG 活動進捗**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 4
 - ・成果報告会について
- 4) その他
 - ・490N/mm²級 H 形鋼の TMCP 適用に関する動きについて・・・・・・・・ No. 5
 - ・今期成果のとりまとめについて
 - ・次回開催について
- 5) 副委員長まとめ

5. 議事要旨

- 1) 委員長挨拶
岩永委員長より、今回も議題が多く委員の方々にはご負担をかけているところではあるが、引き続きご協力をお願いしたい旨の挨拶があった。
- 2) 第8回技術委員会議事録案の確認
事務局より、前回の議事録案の報告があり内容について了承された。
- 3) 技術委員会での検討事項
 - ① **S造化の推進**
（経緯）4/16 に鉄連へ協力と情報を提供いただくため意見交換会を実施。その際に鉄連より S造から木造へ変更となった事例を提供いただきたいとの要望があり、全構協として調査を行うこととなった。

- ・事務局より、次回鉄連との打合せに向けて、1. 鉄骨造から木造に置き換わった案件に関する情報収集結果、2. 木造化推進に関する補助事業の調査結果、3. 「S 造化推進」に関わる調査を踏まえた鉄連へのお願いと要望事項、の説明を行った。

内容については以下の通り。

1. 鉄骨造から木造に置き換わった案件に関する情報収集

- ・設計段階での S 造→木造への変更の情報は入手困難なため、本来 S 造と思われる案件で木造にて設計された事例も含む。
- ・調査結果数は、45 件あり、そのうち「設計で一級建築士資格が求められる用途・規模（15 件）」と「それ以外（30 件）」とを分けて報告する。
- ・15 件の事例では、公共住宅、学校建築の用途が多く、木造となった理由の多くは「地方公共団体の方針」や「環境配慮」であり、国による木造化推進の動きが影響している。残る 30 件の事例は、小規模な住宅は木造で民間施設である。

2. 木造化推進に関する補助事業の調査

- ・「公共建築物等における木材の促進に関する法律」に基づき、省庁横断の「木材利用促進本部」が林野庁に設置され多額の補助が行われている。また官民横断で周知を行うための「ウッドチェンジ協議会」が設置されている。補助事業は期限が設けられておらず、木造に置き換わる傾向が継続されると思われる。

3. 「S 造化推進」に関わる調査を踏まえたお願い事項（鉄連への要望）

- ・木造に置き換わった事例の規模からも、全構協構成員の多くを占める小中規模ファブは、木造化の影響を受けやすく、S 造の環境優位性のアピールを改めてお願いする。特にお願い・要望する事項は、
 - ① S 造の技術先進性、魅力ある鋼構造物に関わる研究開発推進と情報発信
 - ・材料、部材・部品、設計及び施工の多角的な視点で S 造の魅力を向上させる研究開発を促進していただきたい。
 - ② S 造建築の優位性に関するエビデンスの提供
 - ・ライフサイクルを考慮した木造との環境性能やコストに関する定量比較を進めていただきたい。
 - ③ S 造に理解が深く建築環境分野にも知見を有する有識者や人的ネットワークを紹介していただきたい。

以上の事務局からの説明後、報告資料の確認と日程調整を行った。

- ・S 造→木造となった事例が 15 件で根拠としては弱いかなと感じるので、鉄連への報告の際には短期間での調査のため事例が 15 件ではあるが、アンケートをとった時点より事例は増えている旨を口頭で説明する。
- ・開催候補日を第一希望 2/16(月)、第二希望 2/24(火)とする。
- ・前回の委員会で話題となった構造別工事単価について、事務局により資料 No.2-5 「積算ポケット手帳（建築資料研究社）」の木造、鉄骨造及び RC 造の坪単価に関する資料の説明を行った。併せて、国土交通省が発表している建築着工統計調査

における、一戸建て、共同住宅、長屋の各用途別における、木造、鉄骨造、RC造の工事費の坪単価の説明を行った。(木造住宅、鉄骨造住宅および鉄筋コンクリート住宅の標準施工坪単価はそれぞれ 663,803 円、1,050,190 円、1,084,928 円)

- ・本データは建物の規模や種類が異なるので参考資料として扱うこととする。

②機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討

- * 深堀方向として、全構協の中長期ビジョンで掲げている「IoT・DXの推進」「人材確保」「働き方改革」や図面問題の解決につながる CAD を採り上げることとした。
- ・事務局より、CAD に関する専用及び汎用、代表的なソフトやシェアなど取りまとめた資料と CAD メーカーへの質問事項の資料の説明を行った。内容は以下の通り。
 - ・専用 CAD では、REAL4 とシグマ F1 の 2 社で約 85% のシェアとなっており、その他 FAB21、S/F FUTURE、KAP、FAST Hybrid、4 社で約 15% のシェアである。AiCAD-sf が今後販売予定である。
 - ・汎用 CAD については、実寸法師、AUTOCAD、JWCAD がそれぞれシェア 49%、11.5%、34% であり、REAL4 との連携が可能な ARRIS では、5.5% とのシェアである。
 - ・BIM については、Tekla の紹介を行った。

協議の結果、下記の通り進めていくこととした。

- ・REAL4 と Tekla については、開発担当者を招いて説明いただくこととする。候補日は 12 月 23 日(火) (午前・午後に分けてヒアリング)。
- ・REAL4 以外の専用 CAD メーカー (4 社) と汎用 CAD (実寸法師) については、「質問書」を送り書面にて回答いただき、次回委員会 (12 月 23 日) までに回答を取りまとめる。
- ・新製品の AiCAD-sf については、情報収集と操作性確認のため、販売元のドッドウエルの福岡支店へ出向き、デモを含めた説明会の開催を要望する。候補日は 2026 年 3 月 6 日とする。

③溶接施工 WG 活動進捗

- ・事務局より、11 月 7 日に開催する「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」成果報告会の資料について説明を行い、西山副委員長に、閉会の挨拶をお願いする旨を併せて説明した。

4) その他

- ・490N/mm² 級 H 形鋼への TMCP 適用の動きについて事務局より下記の説明があった。
 - ・日本製鉄が H 形鋼の製造で TMCP を適用する。対象の製品は、ハイパービーム、メガハイパービーム、H 形鋼 (JIS) で JIS 認証を取っている。化学成分の変更はなく、炭素当量を厳しく設定しているため、アズロール以上の溶接施工性を有している。10 月より TMCP による製法を開始すること。

●今期成果のまとめ

本技術委員会で期中に取り組んだ内容は、①JASS6 改定、②溶接施工 WG、③S 造化推進、④生産性向上施策の 4 項目であり 3 月末を目途に完了し報告を行う。

上記、

- ① JASS6 改定については、全構成員の要望を聴取の上内容を精査し、理事会の承認を得て建築学会へ要望案を提出した。
- ② 溶接施工 WG については、全構協実施型助成テーマの取組み成果をとりまとめ、構成員及び関連団体等へ向けた成果報告会を 11/7 に開催する。
- ③ S 造化推進については、2 月に行う鉄連との意見交換会の結果を取りまとめる。
- ④ 生産性向上については構成員にアンケートを実施し改善要望を取りまとめ、機械メーカーへ対応可否の確認を終えている。期中新たに着手した CAD に関しては CAD メーカーへのヒアリングの実施と今後の展開を取り纏めるところまでを区切りとする予定である。

・次回委員会は、12/23 に開催する。

5) 西山副委員長まとめ

西山副委員長より、本委員会の成果もだんだん形になってきたと思う。鉄連や CAD メーカーなど外部との面談により、成果をまとめ 3/6 の委員会で無事着地できるよう、引き続きご協力をお願いする旨の挨拶があった。

以 上

【理25-6-報2③】

〈 2024～2025 年度 〉

第 9 回 一次加工品質管理 WG 議事録案

1. 日 時 2025年11月4日(火) 14:00～17:00
2. 場 所 安保ホール210号(名古屋開催)
3. 出席者 リーダー：岩永 メンバー：西山、上柿、金本
(敬称略) オブザーバー：全鉄評 新村※WEB参加 事務局：安藤、齋藤
学識者：小野徹郎(名古屋工業大学名誉教授)、
田中剛(神戸大学 教授)※WEB参加

4. 議事次第

- 1) WG リーダー挨拶
- 2) 前回 WG 議事録確認
 - ・第8回議事録案
- 3) 建築鉄骨における一次加工標準要領書について
 - ・一次加工標準要領書(原案)及び一次加工精度基準(原案)
- 4) その他
 - ・次回開催について
- 5) WG リーダーまとめ

5. 議事要旨

- 1) 小野先生、田中先生をお迎えするにあたり、各委員より自己紹介の後、岩永リーダーから皆様へのお礼と本WG設立、経緯などのご説明があった。
- 2) 前回 WG 議事録確認
事務局より議事録案を確認し了承された。先生方及び委員からの主な意見は以下の通り。
 - ・地域によらず全国的に一次加工業者が標準要領書の提供や教育の場や機会を望んでいることが分かった。また、一次加工業者への指示(管理値など)をどのように行えばよいかわからないというFABの意見があった。
 - ・当初懸念されていた一次加工業者からの反対もそれほどなく、前向きにとらえられていた。
 - ・工場審査では、ショットブラストや孔あけなどの不具合を見ることがあり、一次加工の品質管理の重要性を感じる。
- 3) 建築鉄骨における一次加工標準要領書案について
事務局より一次加工業者11社及び機械メーカー2社からのヒヤリング内容を反映した標準要領書案の説明が行われた。先生方及び委員からの主な意見は以下の通り。(抜粋)
(第1節) 総則の責任者の要件について
 - ・「…品質管理責任者講習会などを受けた担当者をおく」の「など」は具体的に明記する必要がある。要件は「品質管理講習会または一次加工標準要領書講習会を受講した担当者、あるいは鉄骨製作管理技術者(1.2級)または建築鉄骨製品検査技術者の資格を有する担当者、をおく。」に見直した方がよい。

- ・一次加工の品質の向上は、FAB 全体の品質向上へもつながるため要領書が出来上がった時点で全構協として講習会を実施してはどうか。
- ・「JASS6 鉄骨工事に定められた用語を基準とする。」→「…を基本とする。」に修正。
- ・「一次加工の品質マネジメント」→「…の品質管理」に修正。
- ・「一次加工の品質を保証するため」→「…を確保するため」に修正。

(第 2 節) 材料；割愛

(第 3 節) 一次加工

- ・一次加工特有の表記はあるか。→ (回答) 3.2 (3) 「けがき寸法は、製作中に生じる収縮、変形及び仕上げ代を考慮した…値とする。」と一次加工特有の記載をしている。
- ・全般的に H 形鋼を主眼としている印象がある。工場審査の際に、一次加工された切板の品質管理が軽視されており、切板の品質が適切に確保されているか疑問を感じている。切板についてももう少し注意点などの記載を追加してはどうか。→ (回答) けがき及び切断・切削加工に「切板」に関する記述を追記することを検討する。

(第 4 節) 自主検査；割愛

(第 5 節) 発送

- ・「発送」は JASS6 では鉄骨製作工場から現場への発送との意味であり、今回は一次加工業者が主体であるならば、「出荷」と表現し区別する方がよいのではないかと。
→ 協議の結果「出荷」と修正することとした。

事務局より、検査項目に対する管理値（管理許容差）、特に WG として独自に管理値を設定した項目を中心に説明を行った。あわせて「自主検査記録表」、「工作機械点検表」並びに「消耗品の交換時期」の説明を行った。先生方からの主な意見は以下の通り。

- ・管理許容差を規定されているが、通常限界許容差を超えた場合にはその製品は再製作となるが、今回限界許容差の扱いはどのようになるのか。
- (回答) 製品の不合格の判断は限界許容差でなされるが、一次加工業者ではこの判断ができないため、管理許容差を超えた場合には、鉄骨製作者へ報告し協議の上決定すると明記することとした。

以上の議論、ご指摘を踏まえ、基準案を以下の通りにまとめることとした。

- ・標準要領書案を修正し一次加工業者と 2 者間で再度協議することとした。その後内容が固まった時点で最終版を小野先生、田中先生にご確認をお願いすることとした。
- ・スケジュール感として、年内 12 月を目途に修正を事務局にて行い、1 月に各委員に内容を確認いただく。2 月に一次加工業者（11 社）へ展開し意見を取りまとめ、3 月に WEB 併用で一次加工業者（11 社）と内容の協議を行う。
- ・本 WG のテーマはかなり重く慎重に進めていく必要がある。WG としては、一次加工の品質管理の指標となる「一次加工標準要領書」の作成を目標とし、運用の仕方や周知方法については、理事会の判断に委ねることとする。

4) その他

次回の委員会は、一次加工業者を招いてWEB併用にて東京で開催することとした。
開催日程は2026年3月23日(月)14:00~17:00とした。

5) WGリーダーまとめ

小野先生、田中先生、各委員含め岩永リーダーより、本日までご参加いただいた方々へお礼の
あいさつの後閉会した。

以上

【理25-6-報2④】

〈 2024～2025 年度 〉

第 9 回 外部団体との意見交換会対応 WG 議事録（案）

1. 日 時 2025年9月17日(火) 10:00～12:00
2. 場 所 全構協 第1会議室 (WEB 開催)
3. 出席者 リーダー：登尾
(敬称略) メンバー：長谷川、原、川村 (事務局) 安藤、斎藤、尾下

4. 議事次第

- 1) WGリーダー挨拶
- 2) 前回議事録の確認
- 3) 今後の方針について
 - ①外部団体と協議するための資料整備、外部団体と関係構築するための手引き作成について
 - ②各県及び支部で行っている JSCA との交流の内容の共有について
 - ③全構協、鉄建協で行っている要望活動の情報共有について
- 4) 次回開催日程と今後の予定について
- 5) WGリーダーまとめ

5. 議事要旨

- 1) 登尾リーダーより、理事会で当 WG の今後の活動方針・内容について報告し了承されたこと、今後検討を具体的に進めていくことになるので改めて協力をお願いしたい旨の挨拶があった。
- 2) 事務局より、議事録案を読み上げ了承された。
- 3) 今後の方針について
 - ・ 前回の会議にて以下の①～③の進め方の方針を確認し、この方針に沿って協議を実施した。
 - ① 県、支部が JSCA 等の外部団体と交流・協議するための資料を整備する。また外部団体と良好な関係を構築するための手引きを作成する。
 - ② 各県及び支部で行っている JSCA 等の外部団体と交流の内容を共有する。
 - ③ 全構協、鉄建協で行っている要望活動の情報を共有する。

① 県、支部が JSCA 等の外部団体と交流・協議するための資料整備について

- ・ 外部団体と交流の少ない県組合向けに交流会を開催するまでの具体的な進め方の手順を示した。

- | |
|--|
| 【ステップ①】 課題の洗い出しと問題解決のための相手先（外部団体等）の選定 |
| 【ステップ②】 組合内での体制の構築 |
| 【ステップ③】 外部団体との交流の目的と主テーマの選定 |
| 【ステップ④】 交流する外部団体のメンバーについて |
| 【ステップ⑤】 交流する外部団体への連絡方法 |
| 【ステップ⑥】 主となるテーマに対する具体的な実施内容、活用できる題材（資料）の選定 |

- ・ 上記案に対して協議を行い、以下の方針で進めることとした。
 - 1) やり始めることも大事だが、一回の活動で終わらないように続けることが大切である。手順には「継続」の重要性と施策を主旨及び取り組みステップに盛り込む。
 - 2) 福岡の協議会で取り組んでいるディテール集は現在改定作業中であり、その内容についてフォローし、可能な範囲で共有していただけるよう働きかける。
 - 3) 参考となる活動事例やディテール集、技術資料、チェックリスト等については、事務局と各メンバーで引き続き調査を続け、さらに資料を充実させる。

② 各県及び支部で行っている外部団体との交流の内容の共有について

- ・ 本 WG でまとめた「各県における外部団体及び意見交換会等の活動」リストを活用し、外部団体との交流の内容を周知する。
- ・ 本 WG 終了後も外部団体との交流の情報が共有できる仕組み作りについて考える。
- ・ 組合からの情報発信も促していく。

③ 全構協、鉄建協で行っている要望活動の情報共有について

- ・ これまで総括の公開のみであったが、執行部の判断により要望活動に関わる情報を共有する方向に舵を切っていただけることになった。鉄建協の了解をいただき、個社・個人に関わる情報を伏せた上で具体的な要望活動の内容を見ていただけるようになる。その後、本 WG 内で内容の共有を図る。

4) 次回開催日程と今後の予定について

2025年11月17日(月) 14:00~17:00(対面)

5) WGリーダーまとめ

- ・ 個人、個社の話になりがちだが、プロとして意見が出来る技術者を育てられる業界にしてい
く必要があるといった話が理事会で出た。一つ一つ活動を積み重ねることが大切であり、本
WGでも構成員のために情報提供ができるよう活動を進めていきたい。次回は対面というこ
とでご足労をかけるが、有意義な会議としたいのでよろしくお願いしたい、と述べられた。

以 上

国土交通大臣認定工場
代表者様

株式会社全国鉄骨評価機構
代表取締役社長 高野昭市
[公印省略]

品質管理体制の維持に関する定期報告の実施と性能評価の失効について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は性能評価事業に対し格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、管理技術者等の変更届については、昨年 10 月に届出様式を改め、1 ヶ月以内に提出するよう周知徹底を図ってきましたが、届出期限が守られないことや、変更内容を確認する際、管理技術者等が配置されていない状態（空白期間）が判明することがありました。

管理技術者等の空白は、大臣認定の前提となる性能評価基準を満たさないため、大臣認定の取消しにつながる大きな問題です。

このような状況を評価機関が把握できていないことについて国土交通省から改善が求められ、その対処方法について協議を重ねた結果、管理技術者等に空白が生じた場合、性能評価を失効し、大臣認定の取消しができるよう約款等を再改正することになりました。また、空白が生じないよう適切な管理を促すことを目的として、評価機関が認定工場に対し、管理技術者等の状況を定期的に報告するよう求めることになりました。

つきましては、下記 2 点の運用を 2026 年 4 月 1 日より開始しますので、ご対応下さるようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 性能評価の失効について

性能評価業務約款細則第 17 条第 1 項（別添参照）に基づき、次に該当する場合、性能評価の失効（大臣認定の取消し）の対象となりますので、国土交通省に報告します。

- ①品質管理体制等に変更があり、評価を受けたグレードに適合しなくなったにも関わらず性能評価の申請を怠ったとき
- ②届出・報告を怠り、督促にも応じないとき
- ③虚偽の届出・報告があったとき
- ④その他、虚偽申請による大臣認定の取得や重大な不正が発覚したとき

2. 定期報告の実施について

品質管理体制（管理技術者等）を確認するための報告を、別添（認定工場の品質管理体制等に関する定期報告について）に基づき実施します。

以上

株式会社全国鉄骨評価機構 性能評価業務約款細則

(2025年10月7日改正、一部抜粋)

(認定工場の継続等)

第13条 機構が交付した性能評価書を添付し国土交通大臣の認定を受けた鉄骨製作工場（以下「認定工場」という。）は次のいずれかの一に該当するにいたった場合は、規程第6条に定める性能評価用申請図書を提出し、評価を受けなければならない。（い）

- (1) 業務約款第2条第8項に定める評価有効期限経過後も認定工場の継続をしようとするとき（ろ）
- (2) 認定工場は認定書の適用範囲、認定書別添の品質管理体制及び社内規格・基準、製造設備、検査設備・機器等性能評価の内容に変更を生じ、認定を受けた評価の区分に適合しなくなったとき
- (3) 認定を受けた工場を移転したとき。

なお、同一敷地内での移設又は増設は、第14条の規定による。（は）

(認定工場の変更事項の届出等)

第14条 国土交通大臣の認定を受けた鉄骨製作工場は、次のいずれかに該当するに至った場合、特段の事由がある場合を除き1カ月以内にその旨を機構の代表取締役社長（以下「社長」という。）に届出なければならない。また、認定工場が乙からこれらに関する報告を求められた場合は、速やかに報告しなければならない。（に）（ほ）

- (1) 認定工場の認定書の適用範囲、認定書別添の品質管理体制及び社内規格・基準、製造設備、検査設備・機器等認定の内容に変更があったとき
 - (2) 認定工場の事業主が代わったとき
 - (3) 認定工場が吸収合併、分離独立又は譲渡されたとき
 - (4) 認定工場を廃止又は認定に係わる事業を停止したとき
- 2 社長は、前項の届出があった場合、規程第16条に定める性能評価運営委員会の審議を経て、次の事項について文書により認定工場に通知しなければならない。なお、前項第3号については計画時の届出がなされた場合、国土交通省と協議の上、本項に準じた取り扱いを行うことができる。（ろ）（ほ）
- (1) 改めて性能評価が必要か否か
 - (2) 一定期間内での改善の実施が必要であるか
- 3 社長は、前項の審議にあたり、届出書類の事実確認等の調査が必要であると認めた場合、工場の実施状況の確認等必要な調査を当該工場へ通知のうえ実施し、届出書類に調査報告書を添付し、性能評価運営委員会に提出しなければならない。
- 4 社長は、第1項の事実発生にも係わらず届出がないことが判明したとき、及び、問題提起等により認定工場の適合性に疑義が生じた場合、当該工場に通知のうえ事実確認の調査を行わせることができる。調査の結果、認定書（別添を含む）の記載内容と異なる事実が判明した場合は、第2項によるものとする。

- 5 第1項の届出工場及び第4項に該当する工場は、第3項及び第4項に定める調査に協力しなければならない。性能評価運営委員会は、当該認定工場の協力がなく事実確認できない時は、改めて性能評価が必要な工場とみなす。
- 6 第2項及び第4項の規定により改善の実施が求められた工場は、通知書発行日から1カ月以内に、改善の実施を行い、改善報告書を機構に提出しなければならない。
- 7 第2項、第4項及び第5項の規定により改めて性能評価が必要となった工場は、通知書発行日から1カ月以内に性能評価の申請をしなければならない。
- 8 第1項の1号の品質管理体制等の変更の場合、乙は、変更事項の届出に記載された資格者の有効性などの記載内容の正誤について資格発行団体などに確認することができる。この場合、乙は個人情報などの守秘義務を厳守しなければならない、甲は変更の届出に記された個人に、予めその旨の了解を得ておかななければならない。(は)

(性能評価の失効)

第17条 社長は、認定工場が次のいずれかの一に該当するに至った場合には、国土交通省と協議の上、性能評価を失効させることができる。(ほ)

- (1) 第13条第2号及び第3号の規定に該当したにも係わらず性能評価の申請を怠ったとき (ほ)
 - (2) 第14条第1項に定める届出及び報告を怠り、督促にも応じなかったとき (ほ)
 - (3) 第14条第1項に定める届出及び報告に虚偽の記載があったとき (ほ)
 - (4) 第14条第6項及び第15条第2項により改善要求の通知を受け、督促にも応じなかったとき (ほ)
 - (5) 第14条第7項及び第15条第2項により改めて性能評価の申請が必要と通知を受け、督促にも応じなかったとき (ほ)
 - (6) 第15条第4項に定める工場実態調査に協力しなかったとき
 - (7) 認定工場が、資格証、雇用確認書類等の改ざん・偽造等による虚偽の申請書類により性能評価を受け大臣認定を取得したとき (は)
 - (8) 認定工場が、検査結果の改ざん・偽造等、品質管理において重大な不正を行っていたことが発覚したとき (は) (ほ)
- 2 社長は、前項の規定により認定工場についての性能評価が失効した場合には、第16条第1項の規定により公表している認定工場名簿から削除するとともに、当該工場についての性能評価が失効した旨を公表することができる。(は) (ほ)

(附 則) (ほ)

改正後の細則は、令和8年4月1日より実施する。

認定工場の品質管理体制等に関する定期報告について

性能評価業務約款の改正により、第14条（認定工場の変更事項の届出等）第1項に「報告」を求める条文を追加したことから、その運用を以下の通り定め、定期的に行うこととする。

1. 定期報告の目的等

認定工場は、品質管理体制等に変更があった場合、1ヶ月以内に届出なければならないことが性能評価業務約款細則（以下、「約款細則」という。）に定められている。

しかしながら、これまで、届出の提出期限が守られないことがあり、その理由の一つに、評価基準に定める資格を保有した管理技術者等が一時的に不在（空白）となっている場合がある。この場合は、性能評価基準を満たしておらず、性能評価が有効ではないと判断される。

定期報告は、認定工場に定期的に品質管理体制の報告を求めることにより、品質管理体制の重要性を認識してもらい、変更届の提出徹底と、管理技術者等の空白状態が生じないように認定工場としての適切な管理を促すことを目的としている。

2. 定期報告の概要

(1) 対象工場

全鉄評が評価した大臣認定工場を対象とする。

(2) 実施時期

年1回、8月に行う。

(3) 報告内容

管理技術者等の氏名・資格情報等とする。

- ・管理技術者等は、品質管理責任者、管理技術者、管理責任者、及び溶接技能者
- ・氏名・資格情報等は、氏名、生年月日、雇用保険被保険者番号・保険取得日、資格名・認定番号・初回取得年月日・有効期限

(4) 報告方法 (システム構築中)

Web上に自社の評価情報が掲載された「マイページ」を通じて全鉄評に直接報告する。
なお、変更がない場合でも「変更なし」として報告する。

3. 定期報告に関する運用方法

(1) 報告期限

- ・認定工場の「マイページ」管理責任者にメールで報告を要請する。（8月）
- ・認定工場は要請メールを受けてから、原則2週間以内に報告する。
- ・報告がない場合は督促し、督促してから2週間を超えて報告がない場合は、約款細則に基づき、国土交通省にその旨を報告する。

(2) 管理技術者等の空白が生じた場合

- ・約款細則第 17 条（性能評価の失効）に基づき、性能評価の失効について国土交通省と協議する。なお、報告がない工場及び報告に虚偽があった場合も失効の対象となる。
- ・国土交通省との協議の結果、性能評価の失効が決定した工場は、全鉄評に評価取下げ申請、及び国土交通大臣に評価機関経由で認定取下げ申請をそれぞれ行う。
- ・全鉄評はホームページの認定工場名簿から当該工場の記録を削除する。また、内容によっては失効した旨を評価機関のホームページ上で公表することができる。
- ・認定取消となった工場は、国土交通省のホームページに掲載されている認定工場名簿に示される。
- ・過去の空白が判明した（報告時点は空白でない）工場は、性能評価有効期間の残存の有無にかかわらず、速やかに性能評価の申請を行い、改めて性能評価及び大臣認定を受ける。

4. 定期報告の実施時期

2026 年度（2026 年 4 月 1 日）から実施する。

（なお、実施するまでの間に前項の(2)に該当する工場があった場合は、都度、国土交通省と協議し、同様の対応を当該工場に要請する。）

以上

※ いずれも国土交通省との協議による

定期報告に基づく「性能評価の失効」または「再評価」の判断事例

| 事例 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|---------------|----|--------------|----------|--------------|----|----|----|----|----|---------------|----|
| A 8月1日時点で、 空白期間が一定期間を超えている場合 | 性能評価有効期間 | | | | | | | | | | | |
| | 空白期間（一定期間 超え） | | | | | | | | | | | |
| | 協議 | 失効 | 新様申請 (後期) | 空白消滅に申請 | 新様申請 (中期) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 有効期限 (5年間) | |
| B 8月1日時点で、 空白期間が一定期間以内の場合 | 性能評価有効期間 | | | | | | | | | | | |
| | 空白期間（一定期間以内） | | | | | | | | | | | |
| | 協議 | 失効 | 空白状態を管理 | 空白消滅 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| C 8月1日時点で、 過去の空白期間が発見した場合 | 性能評価有効期間 | | | | | | | | | | | |
| | 空白期間（一定期間 超え） | | | | | | | | | | | |
| | 再評価 | 失効 | 新様申請 (後期) | 空白消滅後に申請 | 新様申請 (中期) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 有効期限 (5年間) | |
| ① 空白期間が一定期間を超えていた場合 | 性能評価有効期間 | | | | | | | | | | | |
| | 空白期間（一定期間 超え） | | | | | | | | | | | |
| | 再評価 | 失効 | 新様申請 (後期) | 空白消滅後に申請 | 新様申請 (中期) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 有効期限 (5年間) | |
| ② 空白期間が一定期間以内であった場合 | 性能評価有効期間 | | | | | | | | | | | |
| | 空白期間（一定期間 以内） | | | | | | | | | | | |
| | 協議 | 失効 | 新様申請 (後期) | 空白消滅後に申請 | 新様申請 (中期) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 有効期限 (5年間) | |

工場認定条件の保持状況確認結果

2025.11.11

| | 都道府県 | 認定工場数 | 回答数 | 未回答数 | 回答率 | 体制変更有り | | 報告書未提出 | | 資格者一覧未作成 | |
|----|-----------|--------------|--------------|----------|---------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | | | | | 工場数 | 比率 | 工場数 | 比率 | 工場数 | 比率 |
| | 合計 | 1,681 | 1,681 | 0 | 100.0% | 698 | 42% | 50 | 3% | 53 | 3% |
| | (昨年度) | 503 | 501 | 2 | 99.6% | 197 | 39% | 36 | 7% | 34 | 7% |
| 1 | 北海道 | 71 | 71 | 0 | 100.0% | 35 | 49% | 1 | 1% | 1 | 1% |
| 2 | 青森 | 26 | 26 | 0 | 100.0% | 12 | 46% | 0 | 0% | 6 | 23% |
| 3 | 岩手 | 23 | 23 | 0 | 100.0% | 15 | 65% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 4 | 宮城 | 33 | 33 | 0 | 100.0% | 19 | 58% | 1 | 3% | 0 | 0% |
| 5 | 秋田 | 20 | 20 | 0 | 100.0% | 6 | 30% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 6 | 山形 | 22 | 22 | 0 | 100.0% | 2 | 9% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 7 | 福島 | 48 | 48 | 0 | 100.0% | 25 | 52% | 7 | 15% | 0 | 0% |
| 8 | 茨城 | 40 | 40 | 0 | 100.0% | 19 | 48% | 5 | 13% | 0 | 0% |
| 9 | 栃木 | 40 | 40 | 0 | 100.0% | 19 | 48% | 3 | 8% | 1 | 3% |
| 10 | 群馬 | 55 | 55 | 0 | 100.0% | 27 | 49% | 1 | 2% | 0 | 0% |
| 11 | 埼玉 | 42 | 42 | 0 | 100.0% | 17 | 40% | 0 | 0% | 3 | 7% |
| 12 | 千葉 | 46 | 46 | 0 | 100.0% | 19 | 41% | 4 | 9% | 2 | 4% |
| 13 | 東京 | 38 | 38 | 0 | 100.0% | 16 | 42% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 14 | 神奈川 | 30 | 30 | 0 | 100.0% | 14 | 47% | 1 | 3% | 7 | 23% |
| 15 | 新潟 | 55 | 55 | 0 | 100.0% | 24 | 44% | 1 | 2% | 1 | 2% |
| 16 | 富山 | 32 | 32 | 0 | 100.0% | 16 | 50% | 0 | 0% | 4 | 13% |
| 17 | 石川 | 26 | 26 | 0 | 100.0% | 14 | 54% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 18 | 福井 | 38 | 38 | 0 | 100.0% | 9 | 24% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 19 | 山梨 | 18 | 18 | 0 | 100.0% | 6 | 33% | 2 | 11% | 1 | 6% |
| 20 | 長野 | 45 | 45 | 0 | 100.0% | 13 | 29% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 21 | 岐阜 | 47 | 47 | 0 | 100.0% | 15 | 32% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 22 | 静岡 | 69 | 69 | 0 | 100.0% | 28 | 41% | 5 | 7% | 1 | 1% |
| 23 | 愛知 | 96 | 96 | 0 | 100.0% | 30 | 31% | 1 | 1% | 11 | 11% |
| 24 | 三重 | 50 | 50 | 0 | 100.0% | 27 | 54% | 3 | 6% | 2 | 4% |
| 25 | 滋賀 | 17 | 17 | 0 | 100.0% | 5 | 29% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 26 | 京都 | 31 | 31 | 0 | 100.0% | 11 | 35% | 2 | 6% | 2 | 6% |
| 27 | 大阪 | 88 | 88 | 0 | 100.0% | 41 | 47% | 3 | 3% | 3 | 3% |
| 28 | 兵庫 | 72 | 72 | 0 | 100.0% | 26 | 36% | 4 | 6% | 3 | 4% |
| 29 | 奈良 | 27 | 27 | 0 | 100.0% | 10 | 37% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 30 | 和歌山 | 25 | 25 | 0 | 100.0% | 7 | 28% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 31 | 鳥取 | 13 | 13 | 0 | 100.0% | 11 | 85% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 32 | 島根 | 14 | 14 | 0 | 100.0% | 2 | 14% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 33 | 岡山 | 24 | 24 | 0 | 100.0% | 4 | 17% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 34 | 広島 | 48 | 48 | 0 | 100.0% | 28 | 58% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 35 | 山口 | 30 | 30 | 0 | 100.0% | 17 | 57% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 36 | 徳島 | 23 | 23 | 0 | 100.0% | 7 | 30% | 1 | 4% | 0 | 0% |
| 37 | 香川 | 29 | 29 | 0 | 100.0% | 10 | 34% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 38 | 愛媛 | 30 | 30 | 0 | 100.0% | 9 | 30% | 0 | 0% | 5 | 17% |
| 39 | 高知 | 22 | 22 | 0 | 100.0% | 7 | 32% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 40 | 福岡 | 41 | 41 | 0 | 100.0% | 17 | 41% | 1 | 2% | 0 | 0% |
| 41 | 佐賀 | 21 | 21 | 0 | 100.0% | 7 | 33% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 42 | 長崎 | 17 | 17 | 0 | 100.0% | 8 | 47% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 43 | 熊本 | 24 | 24 | 0 | 100.0% | 13 | 54% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 44 | 大分 | 16 | 16 | 0 | 100.0% | 6 | 38% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| 45 | 宮崎 | 23 | 23 | 0 | 100.0% | 6 | 26% | 1 | 4% | 0 | 0% |
| 46 | 鹿児島 | 24 | 24 | 0 | 100.0% | 10 | 42% | 3 | 13% | 0 | 0% |
| 47 | 沖縄 | 12 | 12 | 0 | 100.0% | 9 | 75% | 0 | 0% | 0 | 0% |



報告書未提出の構成員会社には速やかな処置の実行、性能評価機関への報告書の提出の指導をお願い

今後 ・来年度以降は、性能評価機関の「大臣認定取得後の評価の維持・管理」の運用に伴い、本調査は行わない。
 ・性能評価機関への定期報告に先立ち、全構協より県組合へ注意喚起の連絡を発信する。

令和7年10月1日

一般社団法人 全国鐵構工業協会
会長 永井 毅 様

全国鐵構工業協会 中国支部
支部長 妹尾 一人

要望書

仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る令和7年10月1日に中国支部会を開催し、その中で(一社)全国鐵構工業協会に対して下記要望を行う事としました。

御多忙の折ご面倒をおかけしますが、ご査収の程宜しくお願いいたします。

記

全国事務局長会議の議事について

年に一度実施される事務局長会議は各県組合の事務局が中央の情報を収集し、且つ意見発信を行う会議体であると理解しております。本来情報の収集、意見の発信は支部会を通じて各県理事長が行うべきものでありますが、実際の実務を預かる事務局の意見も極めて大事であり、その意見を協議する絶好の場であると思います。

しかしながら数年前本会議の中で全構協から「意見の発信はしかるべき手順で実施してください」という発言があり、それ以降各県事務局が萎縮し、意見発信を控える状況となっています。

この事は中央と地方が闊達に意見交換を行い、問題点を発見しそれを改善していく方法を探るという本来あるべき事務局長会議の目的から大きく逸脱するものであり、この点改善が必要であると考えます。

限られた時間の会議ですので多くを望む事は出来ないかもしれませんが、下記の改善を提案いたしますのでご検討をお願いいたします。

- 1.意見発信の場である事を明確にする
自由闊達な意見交換の場である事を明記する。
- 2.理事会で共有されている報告で時間を浪費しない
事業計画(案),予算(案)等既に理事会、支部会で報告された内容を重複して読上げる事を省略する。
- 3.会議の時間を増やす
会議時間を2時間程度に拡大する。(必要であれば懇親会の時間を削っても良い)

2025年10月20日

日本銀行調査統計局
物価統計課

品目「鉄骨」価格調査へのご協力をお願い

拝 啓

貴社におかれましては、益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

弊行では、企業間で取引される「財」の価格動向を把握する目的で、「企業物価指数(CGPI)」を作成・公表しております。当指数は、わが国の物価動向を表す代表的指標として100年以上の歴史があり、弊行の金融政策においても、その動きを注視しております。

このうち、品目「鉄骨」は、一般社団法人全国鐵構工業協会の皆様の多大なご協力のもと、2010年基準指数において新設されました。「鉄骨」をはじめとする「品目指数」は、財の生産額を金額ベースから数量ベースへ実質化する際のデフレーターとして、「実質GDP(内閣府)」や「鉱工業生産指数(経済産業省)」などわが国の基幹統計作成にも広く活用されております。

現在、弊行では、5年に一度の悉皆的な統計の見直し作業の一環として、調査内容の改善及び拡充を進めております。そうした取り組みの下、品目「鉄骨」の国内出荷価格において、より多くの企業様にご協力いただきますことが、物価動向の的確な把握及び指数精度の維持・向上に必要であるとの判断に至りました。

貴社をはじめとする調査先から頂く情報につきましては、統計法など各種法令のほか、弊行独自の厳格なコンプライアンス・ルールに基づき、機密管理に最大限の注意を払っておりますほか、弊行が作成する物価指数の基礎データとして利用する目的以外には使用いたしません。さらに、個別の価格動向が推測されないよう、最小単位の公表値である「品目指数」は、貴社を含めた複数企業の価格を集計したうえで公表することとしております。

業務ご多忙のところ、勝手なお願いで誠に恐縮でございますが、統計という経済社会の情報インフラを整備し、広く共有するとの趣旨をご理解頂き、別紙記載の内容をご検討頂いた上、価格調査にご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬 具

日銀「企業物価指数」価格調査先の選定について

1. 経緯

| | |
|----------|--|
| 2010年12月 | 日本銀行より価格動向調査へ「鉄骨」の追加に伴う協力依頼あり |
| 2011年1月 | 全構協支部長支部長連絡会議(現在の理事会)で検討し、了承 |
| 2011年3月 | 全構協および日本銀行から正式に各支部宛に調査協力を依頼 各支部3社(9支部×3社=27社)選定を依頼 調査対象期間2015年12月までの5年間を一区切りとして調査開始 その後は5年単位で継続調査予定(改めて相談)とした |
| 2015年9月 | 日本銀行より調査内容および調査協力企業の見直し&追加依頼あり |
| 2020年 | 見直し&追加を行う予定だったが、コロナ禍でそのまま継続 |
| 2025年10月 | 日本銀行より調査協力企業の見直し&追加依頼 |

2. 今後の対応

| | |
|----------|--------------------------------------|
| 2025年11月 | 全構協理事会にて対応を依頼 |
| 2025年12月 | 各支部で依頼企業を2社選定 →全構協へ提出 |
| 2026年1月 | 全構協から日本銀行へ調査対応企業(一覧)を提出 [以降、調査開始] |

3. 依頼事項

各支部から調査依頼先の企業を2社選定いただきたい(提出期限/2025年12月22日(月))

4. 調査内容

[調査内容] 直接受注の建築鉄骨製作案件の受注価格

○案件区分: 4区分

- ① 1契約あたりの重量が500t以上の物件・超高層(概ね軒高60m以上)
- ② 1契約あたりの重量が500t以上の物件・高層(概ね軒高31m以上)
- ③ 1契約あたりの重量が500t以上の物件・中低層(概ね軒高30m以下)
- ④ 1契約あたりの重量が500t未満の物件

○報告価格: 「工場出荷段階」の「トン当たり平均単価」。ただし、「外注費」「組み立てに伴う建設現場での加工費」「現場までの輸送費」は除く。

5. 調査対象期間

2026年1月(予定)から5年間、毎月調査

6. 調査方法

○毎月、政府統計オンライン調査総合窓口を利用したオンライン調査。

- ・政府統計オンライン調査総合窓口を利用したオンライン調査を実施する場合は、毎月下旬頃に日銀より登録頂いたメールアドレスに調査開始のご案内を送付。
- ・書面調査を希望する場合は、毎月25日頃までに「価格調査票」を日銀から郵送。取引価格を記入のうえ、同封の返信用封筒にて原則として翌月第1営業日までに投函。
- ・貴社における機密保持の観点から、実額での報告が困難な場合は、指数化したうえで回答することも可能。
(例/2020年1月時点の価格を100.0として、当該月を102.5と回答)
- ・調査価格の動向に大幅な変化が生じた場合は、背景や要因等について追加的な情報の提供を依頼する場合もある。

7. 情報の秘匿

- ・調査票の授受は、調査協力企業と日本銀行との間で直接行うので、報告内容が外部に漏れることはありません。
- ・日本銀行では、調査協力企業からいただいた情報を本調査の目的以外に使用することはありません。
- ・調査結果は、全報告会社からの数値を平均化・指数化した上で、月報等で公表されます。したがって、個別企業からの情報が生の形で公にされることはありません。調査協力企業の企業名も公表されることはありません。

以上

全構協ホームページ改定 (案)

1. 背景

- 大臣認定管理の厳格化に向けた諸施策の実行と共に、全鉄評システムの改修に着手。
全鉄評情報の第三者性担保の観点から、双方システム(全構協システム)の切り離しが行われる。

2. 変更点 (詳細別紙参照)

- (1) (現状) 「大臣認定工場の検索」を (改定後) 「構成員会社の検索」とし、
構成員検索に対応した新たな全構協ホームページ画面の開発を行う。
- (2) 大臣認定情報に関しては全鉄評及び評価センターのホームページの検索サイトへ誘導すべく、
リンク先を掲載する。
- (3) 構成員アピール情報は今後、全構協ホームページでの掲載を取り止める。

3. 理由

- (1) 全鉄評とのシステム切り離し後においても「構成員会社の検索」情報は継続して提供する必要があるのであるため。
- (2) 大臣認定情報が即時反映された精度の高い情報を、閲覧者が容易に参照できるようにするため。
- (3)
 - ① 「グレード情報」と「年間加工能力」がセットでない「構成員アピール情報」の開示は意味をなさないため。
 - ② 個社ホームページでの情報掲載が進み、全構協ホームページによる情報提供のニーズが無くなってきたため。
← 全構協ホームページ「大臣認定工場の検索」ページ閲覧件数：6件/日平均 (本年9～10月調査結果)
 - ③ 構成員アピール情報入力機能の活用率が低い状況であるため。
← 同機能の活用率は登録構成員の約6%、情報更新は10件(2024年度実績)
※ 運用開始時の工場情報から更新が殆どされていない状況であり、掲載情報精度面での懸念あり。

4. その他(諸情報)

- 全構協ホームページ改定にともなう副次的効果として全構協ホームページの高速化とセキュリティレベルの向上が実現可能となる。

以上

【現状】全構協HP「大臣認定工場の検索」画面

| | | | | | |
|------------|--------|---------------------------|---------------------|---------------------------|-----------------------|
| 工場名 | 会社代表者名 | 郵便番号 | 所在地 | 認定番号 | 詳細地図 |
| 株式会社残間金属工業 | 残間 廠 | 〒088-0614 0154-36-1961 | 北海道釧路郡別路町国営5丁目12番地1 | TFBH-214406 2026/09/30 | |
| | | | | 年度加工能力(ト) | 会社HP |
| | | | | 4,800 | 組合HP |
| | | | | 資本金(万円) | 発地面積(m ²) |
| | | | | 2,000 | 11,160 |
| | | | | 従業員数(人) | 建築面積(m ²) |
| | | | | 51 | 3,673 |

同様の項目を掲載し、指定性能評価機関へのリンク先案内を追加

【改定後】全構協HP「構成員会社の検索」画面

| 構成員番号 | 会社名 | 代表者名 | 郵便番号 | 住所 | 電話番号 |
|--------|------------|------|-----------|-------------------|--------------|
| 01-196 | 株式会社残間金属工業 | 残間 廠 | 〒088-0614 | 北海道釧路郡別路町国営5-12-1 | 0154-36-1961 |

※各構成員のグレード取得情報につきましては、指定性能評価機関である下記2社の公式ページよりご確認下さい

株式会社 全国鉄骨評価機構
All Japan Steel Fabrication Evaluation Organization

株式会社 日本鉄骨評価センター

「構成員アピール情報」の掲載を取り止め

【2社の公式ページのグレード検索結果画面】

| | | | | | | | |
|---------------|--------------------------|---|---------------------|---------------------------|----------------------|-----------|---|
| 全 鉄 評 | 会社名 工場名 株式会社残間金属工業 | 代表者名 残間 廠 | 〒 0614 | 住所 北海道釧路郡別路町国営5丁目12番地1 | 電話 0154-36-1961 | グレード H | 認定番号 評価有効期限 TFBH-214406 2026/09/30 |
| 評価センター | 番号 1 | 鉄骨製作工場名/所在地 川岸工業株式会社 千葉第一工場 千葉県柏市高田1055 | 認定番号 TFBS-225158 | 性能評価有効期限 R09.12.31 | 電話番号 0471-43-1331 | 備考 | |

その他の定例報告事項

構成員登録・取消社数累計表

| 登録・取消承認日 | 全構協受付締切日 | 登録社数 | 取消社数 | 合計社数 |
|---------------------------|----------|------|------|-------|
| 令和7年3月31日現在 (令和6年度増減数) | | 21 | 55 | 2,117 |
| 令和7年5月21日 第1回理事会 | 3月31日 | (0) | (19) | 2,117 |
| 令和7年6月13日 第2回理事会 | 6月6日 | 17 | 1 | 2,133 |
| 令和7年6月13日 第3回理事会 | — | — | — | — |
| 令和7年7月22日 第4回理事会 | 7月15日 | 2 | 2 | 2,133 |
| 令和7年9月16日 第5回理事会 | 9月9日 | 0 | 3 | 2,130 |
| 令和7年11月18日 第6回理事会 | 11月10日 | 5 | 5 | 2,130 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 累 計 | | 24 | 11 | 2,130 |

《グレード別内訳》

S : 9 H : 302 M : 814 R : 545 J : 35 未 : 425 合計 : 2,130

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和7年11月10日現在

| 区分 | 登録・取消 承認 | 増 減 | | | | | | | | 増減差 | 増 減 後 構 成 員 数 | |
|----------|-----------------|----------|------|------|-----|------|-------|-------|--------|-------|------------------|-----|
| | | 登録 社数 | 取消社数 | | | | | | | | | 合 計 |
| | | | 倒 産 | 転・廃業 | 縮 小 | 工場閉鎖 | 休 業 | その他 | | | | |
| 平成21年度合計 | 37 | 11 | 47 | 34 | 3 | 6 | 50 | 151 | -114 | 2,538 | | |
| 平成22年度合計 | 23 | 31 | 39 | 33 | 4 | 7 | 52 | 166 | -143 | 2,395 | | |
| 平成23年度合計 | 14 | 13 | 45 | 20 | 3 | 3 | 65 | 149 | -135 | 2,260 | | |
| 平成24年度合計 | 20 | 9 | 15 | 19 | 2 | 0 | 35 | 80 | -60 | 2,200 | | |
| 平成25年度合計 | 13 | 5 | 5 | 13 | 2 | 2 | 15 | 42 | -29 | 2,171 | | |
| 平成26年度合計 | 26 | 2 | 6 | 10 | 0 | 0 | 21 | 39 | -13 | 2,158 | | |
| 平成27年度合計 | 36 | 0 | 5 | 9 | 0 | 0 | 11 | 25 | 11 | 2,169 | | |
| 平成28年度合計 | 36 | 1 | 6 | 9 | 1 | 0 | 16 | 33 | 3 | 2,172 | | |
| 平成29年度合計 | 56 | 0 | 9 | 7 | 0 | 0 | 11 | 27 | 29 | 2,201 | | |
| 平成30年度合計 | 34 | 2 | 5 | 6 | 0 | 1 | 13 | 27 | 7 | 2,208 | | |
| 令和元年度合計 | 25 | 0 | 10 | 9 | 1 | 0 | 14 | 34 | -9 | 2,199 | | |
| 令和2年度合計 | 32 | 0 | 12 | 6 | 1 | 0 | 15 | 34 | -2 | 2,197 | | |
| 令和3年度合計 | 27 | 1 | 10 | 7 | 1 | 0 | 11 | 30 | -3 | 2,194 | | |
| 令和4年度合計 | 24 | 1 | 14 | 9 | 3 | 0 | 19 | 46 | -22 | 2,172 | | |
| 令和5年度合計 | 21 | 1 | 10 | 4 | 1 | 0 | 26 | 42 | -21 | 2,151 | | |
| 令和6年度合計 | 21 | 0 | 20 | 11 | 1 | 1 | 22 | 55 | -34 | 2,117 | | |
| 令和7年度 | 第2回 (6月6日) | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 16 | 2,133 | |
| | 第3回 (-) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 第4回 (7月15日) | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2,133 | |
| | 第5回 (9月9日) | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | -3 | 2,130 | |
| | 第6回 (11月10日) | 5 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 5 | 0 | 2,130 | |
| | 第7回 (月 日) | | | | | | | | | | | |
| | 第8回 (月 日) | | | | | | | | | | | |
| | 第9回 (月 日) | | | | | | | | | | | |
| | 年度未処理 | | | | | | | | | | | |
| 7年度計 | 24 | 0 | 4 | 2 | 2 | 0 | 3 | 11 | 13 | 2,130 | | |
| 累 計 | 1,153 | 502 | 731 | 563 | 134 | 80 | 1,234 | 3,244 | -2,091 | 2,130 | | |

| | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 1. 転・廃業内訳 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| | 転業 2社 | 転業 4社 | 転業 0社 | 転業 2社 | 転業 1社 |
| | 廃業 8社 | 廃業 10社 | 廃業 10社 | 廃業 18社 | 廃業 3社 |

| | | | | | | | |
|--------------|---|---|----|----|---|----|----|
| 2. グレード別取消内訳 | S | H | M | R | J | 未 | 合計 |
| 令和3年度 | 0 | 2 | 5 | 6 | 0 | 17 | 30 |
| 令和4年度 | 0 | 1 | 5 | 7 | 2 | 31 | 46 |
| 令和5年度 | 0 | 1 | 11 | 4 | 1 | 25 | 42 |
| 令和6年度 | 0 | 0 | 4 | 14 | 0 | 37 | 55 |
| 令和7年度 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 | 11 |

構成員登録社数・増減一覽表

(R7. 9. 10~R7. 11. 10)

| 支部名 | 都道府県名 | 前回 | 増 | 減 | 差 | 今回 | | |
|-----|-------|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 北海道 | 北海道 | 76 | | | 0 | 76 | | |
| | 東北 | 青森 | 34 | | | 0 | 34 | |
| | | 岩手 | 31 | | | 0 | 31 | |
| | | 宮城 | 40 | | | 0 | 40 | |
| | | 秋田 | 23 | | | 0 | 23 | |
| | | 山形 | 27 | | | 0 | 27 | |
| | | 福島 | 59 | 1 | 1 | -1 | 58 | |
| | | 関東 | 茨城 | 59 | | | 0 | 59 |
| | | | 栃木 | 49 | | | 0 | 49 |
| 群馬 | 66 | | | | 0 | 66 | | |
| 埼玉 | 48 | | 1 | | 1 | 49 | | |
| 千葉 | 59 | | | | 0 | 59 | | |
| 東京 | 47 | | | | 0 | 47 | | |
| 神奈川 | 神奈川 | | 42 | | 1 | -1 | 41 | |
| | 新潟 | | 新潟 | 82 | | | 0 | 82 |
| | | | 山梨 | 28 | | | 0 | 28 |
| | | | 長野 | 62 | | 1 | -1 | 61 |
| | | | 北陸 | 富山 | 37 | | | 0 |
| 石川 | 石川 | | | 32 | | | 0 | 32 |
| | 福井 | | | 41 | | | 0 | 41 |
| | 岐阜 | 70 | | 1 | | 1 | 71 | |
| | 静岡 | 88 | | | | 0 | 88 | |
| | 愛知 | 124 | | | 1 | -1 | 123 | |
| 三重 | 59 | 1 | | 1 | 60 | | | |

| 支部名 | 都道府県名 | 前回 | 増 | 減 | 差 | 今回 | |
|-----|-------|-----|----|---|-------|-----|----|
| 近畿 | 滋賀 | 30 | | | 0 | 30 | |
| | 京都 | 46 | | | 0 | 46 | |
| | 大阪 | 107 | | | 0 | 107 | |
| | 兵庫 | 77 | | 1 | -1 | 76 | |
| | 奈良 | 34 | | | 0 | 34 | |
| | 和歌山 | 37 | | | 0 | 37 | |
| 中国 | 鳥取 | 15 | | | 0 | 15 | |
| | 島根 | 22 | | | 0 | 22 | |
| | 岡山 | 33 | | | 0 | 33 | |
| | 広島 | 77 | 1 | | 1 | 78 | |
| | 山口 | 37 | | | 0 | 37 | |
| 四国 | 徳島 | 25 | | | 0 | 25 | |
| | 香川 | 45 | | | 0 | 45 | |
| | 愛媛 | 37 | | | 0 | 37 | |
| | 高知 | 22 | | | 0 | 22 | |
| | 九州 | 福岡 | 47 | | | 0 | 47 |
| 佐賀 | | 24 | | | 0 | 24 | |
| 長崎 | | 18 | | | 0 | 18 | |
| 熊本 | | 26 | | | 0 | 26 | |
| 大分 | | 19 | 1 | | 1 | 20 | |
| 宮崎 | 宮崎 | 27 | | | 0 | 27 | |
| | 鹿児島 | 鹿児島 | 28 | | | 0 | 28 |
| | | 鹿兒 | | | | 0 | |
| | | 島 | | | | 0 | |
| | | 沖繩 | 14 | | | 0 | 14 |
| 合計 | 2,130 | 5 | 5 | 0 | 2,130 | | |

【理25-6-他2】

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移 (国土交通省建築着工統計速報による)

2025年11月5日作成

| 年度 | 月 | 全建築物 | | 鉄骨造 | | 鉄骨鉄筋造 | | 鉄骨推定重量計 | |
|--------------|-----|---------|---------|--------|--------|-------|-------|-----------|-----------|
| | | 面積 | 前年同期比 | 面積 | 前年同期比 | 面積 | 前年同期比 | トン数 | 前年同期比 |
| 平成18年度計 | | 187,611 | 101.1 | 70,187 | 101.2 | 6,317 | 115.5 | 7,334,550 | 101.8 |
| 平成19年度計 | | 157,219 | 83.8 | 61,466 | 87.6 | 5,443 | 86.2 | 6,418,750 | 87.5 |
| 平成20年度計 | | 151,394 | 96.3 | 56,639 | 92.1 | 4,604 | 84.6 | 5,894,100 | 91.8 |
| 平成21年度計 | | 113,196 | 74.8 | 37,589 | 66.4 | 2,937 | 63.8 | 3,905,750 | 66.3 |
| 平成22年度計 | | 122,281 | 108.0 | 40,478 | 107.7 | 2,731 | 93.0 | 4,184,350 | 107.1 |
| 平成23年度計 | | 127,294 | 104.1 | 41,792 | 103.2 | 2,610 | 95.6 | 4,309,700 | 103.0 |
| 平成24年度計 | | 135,452 | 106.4 | 46,257 | 110.7 | 2,677 | 102.6 | 4,759,550 | 110.4 |
| 平成25年度計 | | 148,461 | 109.6 | 52,350 | 113.2 | 3,466 | 129.5 | 5,408,300 | 113.6 |
| 平成26年度計 | | 130,791 | 88.1 | 48,554 | 92.7 | 3,019 | 87.1 | 5,006,350 | 92.6 |
| 平成27年度計 | | 129,605 | 99.1 | 48,304 | 99.5 | 2,909 | 96.4 | 4,975,850 | 99.4 |
| 平成28年度計 | | 134,236 | 103.6 | 49,957 | 103.4 | 2,171 | 74.6 | 5,104,250 | 102.6 |
| 平成29年度計 | | 133,028 | 99.1 | 50,701 | 101.5 | 2,788 | 128.4 | 5,209,500 | 102.1 |
| 平成30年度計 | | 131,078 | 98.5 | 50,048 | 98.7 | 1,464 | 52.5 | 5,078,000 | 97.5 |
| 2019(令和元)年度計 | | 124,936 | 95.3 | 44,928 | 89.8 | 1,480 | 101.1 | 4,566,800 | 89.9 |
| 2020(令和2)年度計 | | 114,114 | 91.3 | 40,218 | 89.5 | 1,878 | 126.9 | 4,115,700 | 90.1 |
| 2021(令和3)年度計 | | 122,466 | 107.3 | 45,580 | 113.3 | 1,966 | 104.7 | 4,656,300 | 113.1 |
| 2022(令和4)年度計 | | 118,676 | 96.9 | 41,946 | 92.0 | 2,375 | 120.8 | 4,313,350 | 92.6 |
| 2023(令和5)年度計 | | 108,314 | 91.3 | 38,337 | 91.4 | 1,534 | 64.6 | 3,910,400 | 90.7 |
| 20(令和4年度) | 4月 | 10,095 | 98.0 | 3,799 | 97.1 | 154 | 97.5 | 387,600 | 97.1 |
| | 5月 | 8,353 | 92.9 | 2,756 | 95.9 | 135 | 90.0 | 282,350 | 95.7 |
| | 6月 | 8,811 | 96.0 | 3,138 | 104.8 | 98 | 44.1 | 318,700 | 102.7 |
| | 7月 | 8,726 | 94.2 | 3,216 | 102.5 | 49 | 22.5 | 324,050 | 99.8 |
| | 8月 | 8,295 | 89.1 | 2,734 | 94.1 | 204 | 127.5 | 283,600 | 95.0 |
| | 9月 | 8,901 | 96.8 | 3,279 | 102.4 | 30 | 28.8 | 329,400 | 101.3 |
| | 10月 | 9,095 | 83.8 | 2,956 | 73.6 | 341 | 211.8 | 312,650 | 76.3 |
| | 11月 | 8,438 | 99.1 | 2,832 | 102.1 | 201 | 254.4 | 293,250 | 104.2 |
| | 12月 | 8,031 | 92.2 | 2,765 | 86.2 | 67 | 81.7 | 279,850 | 86.2 |
| | 1月 | 6,980 | 87.8 | 2,496 | 78.6 | 162 | 253.1 | 257,700 | 80.4 |
| | 2月 | 8,076 | 103.8 | 2,668 | 89.8 | 167 | 303.6 | 275,150 | 91.7 |
| | 3月 | 10,620 | 128.6 | 3,047 | 96.0 | 126 | 155.6 | 311,000 | 96.8 |
| | 年度計 | | 104,421 | 96.4 | 35,686 | 93.1 | 1,734 | 113.0 | 3,655,300 |
| 20(令和5年度) | 4月 | 8,461 | 83.8 | 3,751 | 98.7 | 73 | 47.4 | 378,750 | 97.7 |
| | 5月 | 6,998 | 83.8 | 2,885 | 104.7 | 53 | 39.3 | 291,150 | 103.1 |
| | 6月 | 7,400 | 84.0 | 2,667 | 85.0 | 63 | 64.3 | 269,850 | 84.7 |
| | 7月 | 7,570 | 86.8 | 2,539 | 78.9 | 79 | 161.2 | 257,850 | 79.6 |
| | 8月 | 7,352 | 88.6 | 2,637 | 96.5 | 33 | 16.2 | 265,350 | 93.6 |
| | 9月 | 8,539 | 95.9 | 3,144 | 95.9 | 210 | 700.0 | 324,900 | 98.6 |
| | 10月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 11月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 12月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 1月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 2月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 3月 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 年度計 | | 46,320 | 87.1 | 17,623 | 93.1 | 511 | 76.3 | 1,787,850 |

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2025(令和7)年度 主要会議日程表

2025.10.7 現在

↓ 夏期・年末年始休日
 ↓ 土日・祝日
 ↓ 振替休日
 ↓ 出勤日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 4 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | |
| 8 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |
| 9 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 10 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | |
| 11 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
| 12 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | | |

| 開催年月日 | 三役会 | | 理事会 | | 総会 | | 全国理事会 事務局長会議 | | 委員会 | | その他 | | 備考 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|---|-----------------|-------|-----|---|-----|-------|-----|-----------------|
| | 日 | 時 | 日 | 時 | 日 | 時 | 日 | 時 | 日 | 時 | 日 | 時 | 日 | 時 |
| 2025年(令和7年) | 4月11日 | 12:00 | | | | | 5月10日 | 15:00 | ※ | | | 16:30 | 懇親会 | ※全国事務局長会議 |
| | 5月13日 | 14:30 | | | | | | | | | | | | ※全鉄評取締役会 |
| | 5月21日 | 10:30 | 14:00 | ※ | | | | | | | | | | ※決算・事業報告・総会招集 |
| | 6月13日 | 9:30 | 11:30 | | 15:00 | | | | | | | | | 17:00 懇親会 |
| | 6月24日 | 13:00 | | | | | | | | | | | | 14:00 全鉄評株主総会 |
| | 7月8日 | 14:00 | | | | | | | | | | | | |
| | 7月22日 | 10:30 | 14:00 | | | | | | | | | | | |
| | 8月5日 | 14:00 | | | | | | | | | | | | |
| | 8月6日 | 水 | | | | | | | | | | | | |
| | 9月9日 | 火 | 14:00 | | | | | | | | | | | |
| | 9月16日 | 火 | 9:30 | 11:30 | | | | | | | | | | 17:00 賛助会員との懇親会 |
| | 10月7日 | 火 | 9:00 | | | | | | | | | | | 12:00 全鉄評取締役会 |
| | 11月11日 | 火 | 10:00 | | | | | | | | | | | ※移動理事会 |
| | 11月18日 | 火 | 12:00 | 15:00 | ※ | | | | | | | | | 12:00 全鉄評取締役会 |
| | 12月11日 | 木 | | | | | | | | | | | | |
| | 12月12日 | 金 | 14:00 | | | | | | | | | | | |
| 2026年(令和8年) | 1月16日 | 金 | 9:00 | 11:30 | | | | | | | | | | ※全国理事長会 |
| | 2月10日 | 火 | 14:00 | | | | | | | | | | | |
| | 2月17日 | 火 | 10:30 | 14:00 | | | | | | | | | | |
| | 2月18日 | 水 | | | | | | | | | | | | |
| | 3月10日 | 火 | 14:30 | | | | | | | | | | | 16:00 青年部会との懇親会 |
| | 3月24日 | 火 | 10:30 | 14:00 | | | | | | | | | | 12:00 全鉄評取締役会 |

| 関連団体 | その他 |
|------------------------------------|---|
| 【青年部会】 総会・会長会議：2025年4月19日(土) 仙台 | 2026(令和8)年度予定 2026年4月10日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30) 2026年5月19日(火) 三役会(14:30) 参考:全鉄評取締役会(12:00) 2026年5月26日(火) 三役会(10:30) 理事会(14:00) 2026年6月12日(金) 三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考:全鉄評株主総会(14:00) |

* = 変更箇所

【理25-6-他4】

支部報告資料

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 9月分

(A)

提出日 令和7年10月9日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|-----------------------------------|--|
| 支部 | 道内各支部活動・行事等 | 北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等 |
| 道央 | ・2日(火) 三役会・役員会 ・17日(水) 例会 | ・1日(月)～2日(火) 鉄骨製作管理技術者(2級) 受験対策講習会 ・8日(月) 役員親睦ゴルフコンペ ・9日(火) AW検定協会との意見交換会 第4回役員会 ・18日(木) JSCA北海道支部・鉄骨部会 鉄骨協働WG 「鉄骨造ワークショップ・プレストセッション」 |
| 函館 | | |
| 室苦小樽 | ・19日(火) ブロック三役会 | |
| 旭川 | ・17日(水) 営業会議 (3社) ・25日(木) 例会 | |
| 北見 | ・18日(木) 三地区合同会議(北見) ・25日(木) 例会 | |
| 帯広 | ・18日(木) 三地区合同会議(北見) ・26日(金) 例会 | |
| 釧路 | ・18日(木) 三地区合同会議(北見) | |

(B)

| 支部 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|--------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | S・H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 道央 | 3 ~ 9 | 1 ~ 5 | 1 ~ 5 | 90 ~ 110 | | | ○ | | | |
| 函館 | 3 ~ 4 | 2 ~ 3 | 2 ~ 3 | 30 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 室苦小樽 | 3 ~ 8 | 2 ~ 4 | 2 ~ 3 | 90 ~ 100 | | ○ | | | | |
| 旭川 | 9 | 1 ~ 5 | / | 70 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 北見 | / | 3 ~ 8 | / | 80 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 帯広 | 5 ~ 12 | 1 ~ 4 | 1 ~ 2 | 75 ~ 120 | | | ○ | | | |
| 釧路 | 9 | 7 ~ 10 | / | 20 ~ 100 | | ○ | | | | |

(C)

| 支部 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 道央 | ・山積みはS・Hが3～9ヶ月と増加傾向。Mは1～5ヶ月、RJ未は1～3ヶ月が引き続き多く、横ばい傾向。工場稼働率はS・Hが90～100%、Mも90～100%、RJ未は75～100%で前月とほぼ変わらず。見積は「少ない」がトータルで20社63%と増加。「同じ」が10社31%、「多い」が2社6%となっており、前月と比べて「少ない」がかなり増加。これまで同様「新規・中小物件の見積りが少ない」、「概算・指示数の見積が多い」、「図面の決まりが悪い」というコメントが多い。1～9月の積算量は67,149tで、平年比84%、前年比72% |
| 函館 | ・各社バラつきはあるが、山積み・稼働率共に先月と変わりなく低めで推移しており見積りも少ない。着手時期等の詳細は未定だが、ホテル新築の計画あり。価格については大きく変わりなし。 |
| 室苦小樽 | ・来年夏以降の案件も概算を含め少しずつ出てきているが、まだまだ少ない状況。工場の稼働状況は落ち着いている。本州業者等が低価格で工事を落札してしまう話もあり、危機感を感じている。 |
| 旭川 | ・製作の山:仕事予定としてはあるが、例年比としてかなり物量が少ない。受注内容:プラント、他ファブの手伝い、物流倉庫、改修工事。見積状況:各社少なく、あっても概算見積り。 |
| 北見 | ・各社共に、現在はフル稼働状態。年内は工場稼働を維持できそうな状況。契約単価は今のところ現状を維持している。 |
| 帯広 | ・見積りは相変わらず低調傾向。山積みは各社バラつきはあるが年内くらいまで。価格の変動は聞こえてこない。 |
| 釧路 | ・各社の稼働率は90%以上、山積みも5ヶ月以上。市立釧路病院がよいよ始まり、各社忙しい状況。 |

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 10月分

提出日 令和7年11月10日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|------------------------------------|---|
| 支部 | 道内各支部活動・行事等 | 北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等 |
| 道央 | ・7日(火) 三役会・役員会 | ・10日(金) 工場審査(前期・延期分) ・21日(火) 第5回役員会、共済推進会議、懇親会 |
| 函館 | ・14日(火) 例会 ・25日(土) パークゴルフ大会、懇親会 | |
| 室苦小樽 | | |
| 旭川 | ・21日(火) 営業会議 (2社) | |
| 北見 | ・21日(火) 例会 | |
| 帯広 | | |
| 釧路 | ・28日(火) 例会 | |

| 支部 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|-------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | S・H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 道央 | 3 ~ 9 | 1 ~ 3 | 1 ~ 7 | 75 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 函館 | 3 ~ 4 | 3 ~ 4 | 2 ~ 3 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 室苦小樽 | 3 ~ 8 | 2 ~ 4 | 2 ~ 3 | 90 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 旭川 | 11 | 7 | / | 40 ~ 90 | | ○ | | | | |
| 北見 | / | 2 ~ 7 | / | 80 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 帯広 | 3 ~ 10 | 1 ~ 3 | 1 | 90 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 釧路 | 8 | 5 ~ 8 | / | 50 ~ 100 | | ○ | | | | |

| 支部 | 現状と今後の状況の見直しについて |
|------|---|
| 道央 | ・山積みはS・Hが3~9ヶ月と前月とほぼ変わらず。Mは1~3ヶ月と若干減少。RJ未は1~7ヶ月とほぼ変わらず。工場稼働率はS・Hが90~100%、Mは75~100%、RJ未は75~100%で前月とほぼ変わらず。見積は「少ない」がトータルで21社66%と圧倒的多数。「同じ」が9社28%、「多い」が2社6%とほぼ変わらず。これまで同様「新規・中小物件の見積りが少ない」、「概算・指示数の見積が多い」、「図面の決まりが悪い」というコメントが多い。1~10月の積算量は78,393tで、平年比75%、前年比87% |
| 函館 | ・各社バラつきはあるが、山積み・稼働率共に先月と変わりなく低めで推移しており見積りも少ない。見積(中小規模)は計画を含め数件出てきてはいるが、全体的に少ない。価格については大きく変わりなし。 |
| 室苦小樽 | ・山積みはあるが昨年に比べ少ない。見積りも前月に比べ少なく、概算の見積りが多い。今後、賃金・購入品の値上げによる損益悪化を懸念している。 |
| 旭川 | ・製作の山:稼働はしているが、落ち着いている状況。受注内容:食品工場、他ファブの手伝い、物流倉庫、改修工事。見積状況:依然として概算が多いが、新築見積が出始めている。 |
| 北見 | ・各社共に、現在は稼働状態。契約単価については、今のところ現状を維持している状況。 |
| 帯広 | ・見積は変わらず低調傾向。冬に向け山は低くなるが、今年はそれが早い様子。 |
| 釧路 | ・各社の稼働率は前月同様の90%、山積みも5ヶ月以上。冬が来る前の駆け込み建方もあり、各社忙しい状況。 |

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2025 年（令和 7 年）9 月分

(A)

提出日 令和 7 年 10 月 1 日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|---|------------|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 東北支部活動・行事等 |
| 青森県 | ○9/24 鉄骨部会担当者会議 | |
| 岩手県 | ○9/10 県南支部会 ○9/17 令和 7 年度後期性能評価申請書記入説明会 ○9/18 盛岡支部会 | |
| 宮城県 | ○9/16 役員会 ○9/26 建団連 K・DAY 実行委員会 | |
| 秋田県 | ○9/18～9/19 鉄骨製作管理技術者講習会 ○9/25 営業担当者会議 ○9/30 組合親睦ゴルフコンペ | |
| 山形県 | ○9/11 超音波研究会役員会 ○9/16 三役会、役員及び庄内支部会員合同会議 ○9/22 青年部役員会 | |
| 福島県 | ○9/6,13 実践建築設計 3 次元 CAD 技術講習会 ○9/11 第 3 回理事会 ○9/12 福島支部納涼会 ○9/18 第 4 回青年部役員会 ○9/26 郡山支部暑気払い | |

(B)

| ①手持ち工事量（ヵ月） | | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|-------------|------|------|-------|----------|----------|----|-----|--------------|----------------|-------|
| 都道府県 | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S 造 (H+H) | S 造 (コラム H) | SRC 造 |
| 青森県 | 3～11 | 1～8 | 1～2 | 60 ～ 120 | | | ○ | | | |
| 岩手県 | 3～12 | 2～6 | 0.5～3 | 70 ～ 100 | | ○ | | | | |
| 宮城県 | 5～16 | 3～6 | 0.5～2 | 80 ～ 110 | | | ○ | | | |
| 秋田県 | 3～15 | 3～8 | 1～3 | 80 ～ 120 | | | ○ | | | |
| 山形県 | 3～12 | 1～10 | 1～10 | 90 ～ 120 | | | ○ | | | |
| 福島県 | 6～14 | 2～17 | 1～5 | 10 ～ 120 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 青森県 | 見積物件数は依然として低調が続いているが、手持ち案件を分け合い仕事量を調整しているためか、平均工場稼働率は横ばいを維持。価格も大きな変化はないが、安値傾向は改善されず、不満の声が減らない。先行き厳しい状況はまだ続きそうだが、情報を密にし、何とか乗り越えていきたい。 |
| 岩手県 | 工場加工費の平均値、工場稼働率、手持ち工事量ともに前月比でやや低下。見積依頼数は増えたものの、上位グレード工場による首都圏方面の見積が増加している状況で、県内物件が少ないことに変化はない。来年いっぱい厳しい状況が続くという見方が広がっており、先行きへの不安感が増大している。 |
| 宮城県 | 手持ち工事量、稼働率共に大きな変化は見られず、見積件数も少ない状況が続く。昨年度よりも物件数・受注屯数は減少しているため、年内のみならず来年度前半までも辛抱の状況が続くものと思われる。 |
| 秋田県 | 前月に比べて稼働率は上がっているものの、依然として見積もりは少ない状況。受注価格も横ばいまたは低下してきており、先行きが不安である。 |
| 山形県 | 全体的には案件及び見積は減少傾向。受注価格も厳しくなるので安値受注しないように注視することが大事である。 |
| 福島県 | 新規物件は、規模に関係なく引き合いも低調かつ延期や中止の情報が多い。他地方業者が受注する工事は、相当の安値受注で失注するケースが散見される。現状繁忙期でも終了後、すぐに次の工事に取り掛かれず、稼働率が低くなるケースも多い。来年の見積依頼がでてくる時期だが本当にでてくるのか不安が続いている。 |

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2025 年（令和 7 年）10 月分

(A)

提出日 令和 7 年 11 月 6 日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|--|--------------------------|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 東北支部活動・行事等 |
| 青森県 | ○10/15 鉄骨部会担当者会議 ○10/21 工場見学会（㈱庄子鉄工所） / 役員会議 / 懇親会（@むつ市） ○10/22 会員親睦ゴルフ大会 | ○10/29～30 人づくり研修会（仙台） |
| 岩手県 | ○10/3 鉄構組合・溶接協会合同親善ゴルフ大会（北上） ○10/8 県南支部会 ○10/22 盛岡支部会 | |
| 宮城県 | ○10/6 宮城建団連 理事会 ○10/11 第 35 回建設フェスティバル（K・DAY） | |
| 秋田県 | | |
| 山形県 | ○10/3～4 「鉄骨製作管理技術者」受験準備講習会 ○10/ 6 超音波探傷技術研究会役員会 ○10/10 超音波探傷技術研究会 創立 4 5 周年記念式典、講演会及び祝賀会 ○10/17 青年部 会員及び賛助会員交流事業（ゴルフ等） ○10/29 山形支部親善ゴルフコンペ | |
| 福島県 | ○10/22 営業責任者会議 | |

(B)

| 都道府県 | ①手持ち工事量（ヵ月） | | | ②稼働率（%） | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費（千円） | | |
|------|-------------|------|-----|----------|----------|----|-----|--------------|----------------|-------|
| | H | M | R・J | 稼働率（%） | 多い | 普通 | 少ない | S 造 (H+H) | S 造 (コラム H) | SRC 造 |
| 青森県 | 3～10 | 1～8 | 1～2 | 50 ～ 120 | | | ○ | | | |
| 岩手県 | 3～12 | 1～6 | 1～3 | 60 ～ 100 | | ○ | | | | |
| 宮城県 | 5～10 | 2～6 | 1～2 | 80 ～ 100 | | | ○ | | | |
| 秋田県 | 4～14 | 3～8 | 1～3 | 70 ～ 120 | | ○ | | | | |
| 山形県 | 3～12 | 1～10 | 1～6 | 90 ～ 120 | | ○ | | | | |
| 福島県 | 5～11 | 2～12 | 1～6 | 0 ～ 120 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 青森県 | 見積依頼物件数は低調ながら、前月と比較すると微増。来年の建設計画が少しずつ見えてきた感はあるが、動きは遅いとの声が多い。受注済県内物件が、材料手配後に延期となり、FAB 数社の工場稼働に著しく影響した事例もあって、先行きへの不安感は増大傾向。 |
| 岩手県 | 工場加工費の平均値、工場稼働率、手持ち工事量、見積依頼数ともに前月比で横ばい。見積依頼数が以前に比べて増えてきていることがわずかな希望だが、厳しい状況が続いていることに変化はない。 |
| 宮城県 | 全体的に大きな変動は見られず小康状態が続く。改修工事や小規模の増改築物件が多少ある程度で、まとまった物件の動きは少ない。当分はこのような状態が続くものとみる。 |
| 秋田県 | 前月と比較し、加工費に少し明るい兆しが見えてきたが、不満という声も多い状況。今後の景気の動向にはばらつきがあるが、「良くなる」と回答している企業もあり、前向きにとらえたいところ。見積もり件数も普通と回答している企業も増えてきたため、組合員で連携をとり、ばらつきを少なくしていきたい。 |
| 山形県 | 全体的に前月とほとんど変わらないようだ。今後の仕事量確保が心配される。 |
| 福島県 | 各グレード、物件数・稼働率共高くはない。損益分岐点を考慮したくとも選択する仕事量自体が少ない状況。安値受注を避けたくても、この業界体質では困難。工期遅延も相変わらず多い。そのため、物件が重なり稼働率が高そうに見えるが、その先が続かず先行きが厳しい状況。さらに脅威なのが民間中小物件の木造化が進んでいると感じます。 |

< 関東支部 > 状況報告書

2025年(令和7年) 9月分

提出日 令和7年10月6日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|--|---------------------------|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 関東支部活動・行事等 |
| 東京都 | 9日 理事会、M部会 27日、28日 鉄骨製作管理技術者受験準備講習会 | 関東支部運営委員会 10日 第4回運営委員会 |
| 千葉県 | 10日(水)三役会、理事会 19日(金)青年部役員会 | |
| 神奈川県 | 5日・11日 共同事業・共同購買グループ現地調査、 18日 事業運営委員会、19日 全国Mグレード部会連絡協議会、 24日 共同事業・共同購買グループ勉強会及び役員会 | |
| 茨城県 | 6~7日UTレベル2学科講習会 10日ナノテラス視察研修 19日第6回組合交流ボーリング大会 26日第3回理事会 他サポート1社、実習生企業監査7社 | |
| 埼玉県 | 3日(水) 総務委員会 10日(水)労務委員会、組合理事会、組合創立50周年記念誌委員会 11日(木)総務委員会暑気払い 12日(金)青年部役員会、組合ホームページ及びPR動画委員会 13日(土)展示販売会 22日(月)PA(フェーズドアレイ)講習会 24日(水)関東支部会 25日(木)性能評価研修会、東北支部会 | |
| 栃木県 | ・9/11 定例理事会 9/26 青年部役員会 | |
| 群馬県 | 9/3西毛支部会、9/10東毛支部会、9/12青年部研修会、 9/17三役会・役員会・サポート委員会 | |
| 長野県 | 9/6 UT学科講習会 9/12 青年部会懇親BBQ 9/24 常任理事会 | |
| 山梨県 | 10日 理事会・山梨県溶接技術競技大会及び山梨県高等学校溶接競技会表彰式 13日 溶接技能者評価試験 16-17日 訓練所 アーク溶接講習 18-19日 一般 ガス溶接講習 22日 青年部会 24日 溶接安全委員会 29日 教育技術委員会(技術・品質・パトロール) <その他>11,18,25日 YBSラジオ キックス ポリテクコーナー出演(事務局&会員企業) | |
| 新潟県 | 9・11日後期性能評価の準備説明会 16日経近委員会 19・20日管理技術者講習会 25日親睦ゴルフコンペ | |

(B)

| 都道府県 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|---------|---------|---------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 東京都 | 5~14 | 2~7 | 2~4 | 60~100 | | | ○ | | | |
| 千葉県 | 10.0 | 3~10 | 3.0 | 50~80 | | | ○ | | | |
| 神奈川県 | 6~12 | 2~6.5 | | 80~100 | | ○ | | | | |
| 茨城県 | 8~10 | 4~7 | 3 | 60~100 | | ○ | | | | |
| 埼玉県 | 5~30 | 2~13 | 2~5 | 60~100 | | | ○ | | | |
| 栃木県 | 6~12 | 1~9 | 1~4 | 70~125 | | | ○ | | | |
| 群馬県 | 5~12 | 3~7 | 1~3 | 60~120 | | | ○ | | | |
| 長野県 | 3~9 | 2~6 | 2 | 70~120 | | | ○ | | | |
| 山梨県 | 6.0~12.0 | 2.0~7.0 | 2.0~3.0 | 50~105 | | | ○ | | | |
| 新潟県 | 2~6 | 2~6 | 2~11 | 70~130 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 東京都 | 8月同様、本質的な改善は見られず、厳しい状況が継続している。仕事量は低調であり、建設需要の低迷に加え、材料費の変動や人件費などのコスト高騰は収まらず、経営を強く圧迫している。元請けからの厳しいコスト削減要求により価格競争は激化し、利益確保は依然として困難な状況である。さらに、熟練技能者不足が深刻化し、現場の施工能力に対する懸念が高まっている。当面はコスト管理の徹底と生産性の向上が急務である。また、競争力維持に向けた体制づくりと人材確保・育成への取り組みが重要となっている。 |
| 千葉県 | 今後も仕事の効率化を図れるような、人材不足を補うための職場環境づくりの提言や研修事業を行ってほしい。鋼材価格の変動が大きい。山積みが二極化している模様。超音波技術者等の資格試験回数を増やすなど、資格取得を容易に出来るよう各業界団体への働きかけを組合として行ってほしい。 |
| 神奈川県 | 一部の電炉メーカーが大幅な値下げを発表したが、他の電炉メーカーは値上げを発表。高炉は変わらない状況であり、この発表を受けてGCからの値下げ要求があった。メーカーもある程度足並みが揃えばいいのだが大きな値下げは困惑です。見積もりは26年度以降の案件が段々と増えております。足元の薄い状況を耐え忍ぶ同業者やオーバーフローを起こしている同業者もいて二分化がはっきりしている状況です。 |
| 茨城県 | ・地場の物件は少しずつ出てきていますが、指値が厳しい状況にある。今しばらく、我慢するしかないと思いますが、鋼材の価格を親ながら単価を決めていきたいと思えます ・見積はそこそこあるが、決まりは良くない。 ・工場稼働率の現況は8月と変わらず、来春先までの仕事はあるが各月とも山積みが埋まらず間が持たない状況が続いている。見積引き合いも年内は無く、らいねんの夏場からの引き合いが開始してきている。また予算概算見積は来年末から再来年の案件が多く来ているが、あわりに遠くてわかりません。地元のお客様先案件はインベション改修ばかりで箱もの案件はほぼ無状況。材料費がかなり下がりはじめましたが、加工単価はさらに厳しい状況になりそうです。 ・来春ごろの建方の仕事がなかなか決まりません。 ・26年末~27年春頃建方の引合が増えてきた一方で26年秋までの物件は少なく、山をどう埋めるかが課題となっています。 |
| 埼玉県 | 組合員に確認したところ、この4月から実施した見積案件書特記事項等を提出しても、相変わらず図面問題は起きており解決には至っていないようだ。実効性を持たせるには発注者に費用請求等をするのがいいのだろうが、今後の付き合いを考えるとそこまで強気になれないのが現実である。そもそも意匠と構造の問題や発注者の問題解決能力も根本的にあったりで、請求すれば解決するような問題ではないと思われ、悩ましい状況が続いている。 |
| 栃木県 | ・2025年暮れから2026年前半の物件が薄い。 ・2026年上半年は仕事量が少ないが、秋以降の案件は多い。 ・運搬車両の手配が困難な時がある。 ・高工、鍛冶工の確保が難しい。 ・仕事量は少ないが、山積みがずれたり、納期が重なりたりで苦慮している |
| 群馬県 | 確認申請が伸びて着工が遅れる物件が多く、スケジュールが組みにくい。さらに、来年度の具体的な物件の動きが少なく、不安がしばしばである。 |
| 長野県 | ・予定物件の遅延が発生して山積みに影響が出ている ・不確定要素が多く注目に至らないので、先行きが心配される ・26年後半から、27年の見積もり依頼が増えています ・来年も物件は無さそう ・相変わらず見直しが出ている ・関西の方から、とんでもない値段が出てきている模様 ・2026年春~2027年案件の見積もり引き合いが入りだしているが、来年夏前~秋にかけての見積もりは少ない ・目先は非常に厳しい。いろいろ工夫して乗り切るしかないと考えている ・加工費が下がってきている ・人手不足 |
| 山梨県 | 現状では全体的に仕事量は少ない。材料高騰により金額が折り合わず延期となる物件がある。その影響もあって現時点では購買意欲は弱く、H形鋼等の材料価格の下落が見られる。延期であるので、2年後くらいには状況が改善されることを期待している。 |
| 新潟県 | 手持ち工事量が少なくなっている。 地場物件が少ないのでGC・商社の指値が厳しくなっている。 副資材、消耗品の単価が値上がりしているため、収益が悪化しているとの回答が増えた。 |

＜ 関東支部 ＞ 状況報告書

2025年(令和7年) 10月分

(A)

提出日 令和7年11月10日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|---|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 関東支部活動・行事等 |
| 東京都 | 9,10日 出張理事会 11日 東構塾 18日 東構協ゴルフコンペ | 関東支部運営委員会 14日 第3回運営委員会 23日 第3回支部会(千葉県) オオクラ千葉ホテル 41名 支部会・事務局長会・意見交換会 24日 支部交流ゴルフ(20名) グリッサンドGC |
| 千葉県 | 3日(金)青年部ゴルフコンペ、北部支部会 5日、6日西部支部研修旅行 10日(金)三役会、支部長会 17日(金)西部支部会 23日(木)関東支部会と千葉県組合との交流会 | |
| 神奈川県 | 4日 青年部会BBQ大会、7日 工場審査事前研修会、16日 総務委員会・事業運営委員会、22日 役員会・青年部会役員会、29日 Mグレード部会 | |
| 茨城県 | 15日青年部会役員会、25日東関東非破壊検査研究会研究発表会 他工場審査2社、実習生技能試験 | |
| 埼玉県 | 1日(水) 総務委員会 5日(日)～6日(月) 県南支部会旅行 8日(水) 組合理事会、第1回 働き方改革セミナー、組合創立50周年記念誌委員会 17日(金) PAWG(フェーズDアレイ実証実験) 21日(火) 県東支部会 22日(水) 組合会計監査 23日(木) 県西支部会 30日(木) 県北支部会 31日(金) 埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク幹事会 | |
| 栃木県 | ・10/3～4 工業会研修旅行(石川・福井方面) ・10/9 定例理事会 ・10/24 青年部役員会 ・10/30 ZRC工法講習会 | |
| 群馬県 | 10/7自民党陳情、10/10後期性能評価申請書提出 | |
| 長野県 | 10/1 Mグレード部会役員会 10/2 性能評価研修会 10/10 中央会北信支部役員会・総会 10/14 関東支部運営委員会、鉄筋組立て講習研修会 10/15 長野市表彰 10/23・24 出張支部会 10/25・26 UT実技講習会 10/28 全鉄評 事務局連絡会(WEB) | |
| 山梨県 | 2日山梨県安全衛生大会 4日全国溶接競技会富山大会開会式 5日全国溶接競技会富山大会競技会 9,15,21日特殊健診(じん肺、マンガン等) 10日理事会 11日全国溶接競技会説明会 12日溶接JIS検定 16日中小企業団体中央会情報連絡員会議 22日安全点検パトロール/溶接安全委員会 23日青年部会 27日教育技術委員会 29日経営近代化委員会 | |
| 新潟県 | 21日女性部工場見学 24,25日超音波実技講習会 27,28,30日性能評価サポート3社 30日総務委員会会議 31日正副理事長会議 | |

(B)

| 都道府県 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|---------|---------|---------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 東京都 | 4～17 | 2～8 | 1～3 | 60～100 | | | ○ | | | |
| 千葉県 | 6～11 | 5～9 | 2～3 | 60～90 | | | ○ | | | |
| 神奈川県 | 6～11 | 1～8 | | 60～100 | | | ○ | | | |
| 茨城県 | 8～10 | 4～7 | 3 | 65～100 | | ○ | | | | |
| 埼玉県 | 4～25 | 2～12 | 1～5 | 70～100 | | ○ | | | | |
| 栃木県 | 5～12 | 1～10 | 1～5 | 70～100 | | | ○ | | | |
| 群馬県 | 2～12 | 2～7 | 1～3 | 70～110 | | | ○ | | | |
| 長野県 | 3～11 | 2～9 | 3 | 70～100 | | | ○ | | | |
| 山梨県 | 6.0～12.0 | 1.0～7.0 | 2.0～3.0 | 30～110 | | | ○ | | | |
| 新潟県 | 2～6 | 2～6 | 2～11 | 50～180 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 東京都 | H、M、Rの全グレードで、本質的な改善が見られず厳しい状況が継続している。建設需要は一部堅調な分野もあるものの、人件費などのコスト高騰は収まらず、一部材料費の値下がり分も元請けからの厳しいコスト削減要求で相殺され、価格競争が激化し、利益確保は極めて困難な状況となっている。また、構造的な熟練技能者不足が全グレードで深刻化しており、施工能力維持に重大な懸念が生じている。当面、コスト管理の徹底、生産性の向上、そして人材の確保・育成が急務となっている。 |
| 千葉県 | 引合いが増えているが指値が厳しい。鉄骨製作に関する知識を深める講習会を開いてもらいたい。超音波資格取得機会を年に数回開いてほしい。 |
| 神奈川県 | 足元の山積みは他県と変わらない状況、26年度以降の見積もりは多くなっていますが、足元が薄い状態で価格で応札する他県の同業社がいて価格が割れている。低価格を提示した同業者よりも少しでも下げるなら発注するといった低価格競争が増えています。 |
| 茨城県 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に仕事量は少なく単価も下降気味である。鋼材費は若干下がってきていますが、また上げて来る方向ですので、見積り価格に気をつけたい。我々業界だけが、安値受注に向いています。皆で上げ基調になるよう努力して行きましょう ・来春以降の仕事がかなり薄いと聞いてます。安値で戦い出したファブもいるようで、欲しい物件がまとまりません。図面の決まりは依然として悪く、ファブに考え任せの施工者多いです。 ・来春ごろの建方の仕事がなかなか決まりません。 ・2026年末～2027年春頃の建方物件の引き合いは増えてきています。しかしながら、同一物件を複数社からの引き合いで、値段の回復に至らなそうです。(各社厳しい競争をしています。) |
| 埼玉県 | 組合員間の手持ち量のばらつきは見られるものの、先月よりも総じて稼働率が上がっており見積り依頼数も増えてきたとの話も聞かれる。また、発注者の安指に対して断る事態が起きており、民間物件での発注不調もあったとの報告があった。これがターニングポイントとなって業界がよくなることを願いたい、今一重の適正価格の維持を浸透しないと、歴史は繰り返されると考える。 |
| 栃木県 | <ul style="list-style-type: none"> ・GCの受注見積りが増加している。 ・建て方日程の延期や工事着工の遅れなどが続いてしまっている。 ・仕事が薄い、見積りが少ない等の意見が多い。 ・図面チェックバック、質疑の返答が遅く、的確でない場合が多い。 ・鉄骨受注単価の下落で獲得合戦になってきているとの声がある。適正価格での受注をお願いしたい。 |
| 群馬県 | ゼネコンの指値が一層厳しくなり、商社も受注が低調のよう価格面は低調のままである。見積りは計画案件が多く、また、案件の延期も多々ある。 |
| 長野県 | <ul style="list-style-type: none"> ・先月報告と状況変わらず ・新首相になり経済政策の推進に期待している ・来年後半は仕事量多くなる ・状況は変わらず ・2026年後半にならないと物件の目途がつかない ・忙しくなったとしても単価の上昇が後になると思われるので厳しい時期がまだ続きそう ・受注はあるが厳しい状況には変わらない ・先行き見えません ・来年の仕事量の確保が不透明 ・案件はあるが決まっていない ・材料費が下がっているため、加工費を上げづらくなっている ・仕事の確保が難しい ・先の見通し、予定が立たない |
| 山梨県 | 鋼材が若干の値上げとなるらしい。ファブの仕事量が全体的に少なく、供給過多となり低値の下落傾向が継続していたが、値下げしても需要が掘り起こせないことが判明したため、結果的に値上げすることになったらしい。今後も値上げ傾向は継続する見込みである。 |
| 新潟県 | 手持ち工事量が少なくなっている。地場物件が少ないのでGC・商社の指値が厳しくなっている。副資材、消耗品の単価が値上がりしているため、収益が悪化しているとの回答が増えた。 |

＜北陸支部＞ 状況報告書

2025年（令和7年）9月分

(A)

提出日 令和7年11月7日

| | ① 全構協推進事業の現状 | ② 支部活動状況 |
|------|---|---|
| 都道府県 | | |
| 富山県 | 2日(火) 全国RJグレード部会・第4回幹事会(Web) 10日(水) 技術・品質サポート(R・2社) 17日(水) 技術・品質サポート(H1社・M1社) 22日(月) 技術・品質サポート(H1社・未1社) 24日(水) 建專協・定時総会 | 10日(水) 全構協運営委員会(東京) 16日(火) 全構協理事会(東京) 19日(金) 全国RJグレード部会・工場見学会(岡山) |
| 石川県 | 5日(金) 第14回組合親睦ゴルフ大会 16日(火) 第4回三役会、第4回理事会 | |
| 福井県 | 1日(月) UTレベル1学科講習会（～2日） 5日(金) 共同積算委員会 11日(木) 総務委員会 12日(金) 全青会北陸BC役員会 13日(土) 青年部会研修旅行（～15日） 17日(水) 認定部会役員会・講師例会 25日(木) 県建築連合会 理事会監事会 26日(金) 鉄骨製作管理技術者受験準備講習会（～27日） | |

(B)

| 都道府県 | ① 手持工事量(ヶ月) | | | ② 稼働率(%) | ③ 見積物件の傾向 | | | ④ 工場加工費(千円) | | |
|------|-------------|-----|-----|----------|-----------|----|-----|-------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 富山県 | 6～10 | 2～4 | 1～2 | 60～90 | | | ○ | | | |
| 石川県 | 6～10 | 2～4 | 1～2 | 70～100 | | | ○ | | | |
| 福井県 | 6～10 | 2～4 | 1～2 | 60～100 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 富山県 | 各グレードとも受注の停滞が続いているなか、東京製鉄が形鋼を中心に大幅な値下げを発表した。ゼネコンの指値は一層厳しくなると思われるが、電力・輸送費などの諸経費、そして人件費もアップしており、仕事量を追っての安値受注は絶対してはならない。 |
| 石川県 | 全体的に仕事量は少なく案件の確保に苦慮している様子。見積りも例年に比べて伸び悩んでおり受注環境の厳しさが続いている。一方でゼネコンの請負価格は高騰しているにもかかわらず、鋼材価格の下落の影響もあり鉄骨工事単価は下落傾向。猛暑により作業者の休息が必要となるため、作業効率の低下や、ドリンク提供やスポットクーラーなどの設備費用が増加することで、利益を確保することが一層困難な状況。組合員同士で課題を共有しながら難局を乗り越えていきたい。 |
| 福井県 | 受注量、工場稼働状況は低い状況が続いている。主要鋼材については東京製鉄が値下げしたが、副資材他の消耗品、電力、輸送費等の高止まりも加わって安定経営に不安を抱える組合員が多く見られる。 |

＜北陸支部＞ 状況報告書

2025年（令和7年）10月分

(A)

提出日 令和7年11月7日

| ① 全構協推進事業の現状 | | ② 支部活動状況 |
|--------------|--|--|
| 都道府県 | | |
| 富山県 | 24日(金) 組合員と賛助会員の懇親交流会 28日(火) 全鉄評と組合理事務局との連絡会(Web) | 18日(土) 鉄骨製作管理技術者試験(金沢) 22日(水) 全構協技術委員会(東京) 24日(金) 全鉄評事務局連絡会議(WEB)(～28日) 30日(木) 北陸支部役員会(福井) 支部共済推進委員会 |
| 石川県 | 1日(水) 臨時三役会 6日(月) 第2回金沢支部会 8日(水) 第4回青年部役員会 15日(水) 第5回三役会・第5回理事会 賛助会員との交流懇親会 24日(金) 全鉄評事務局連絡会(WEB) | 31日(金) 品質管理責任者講習会(金沢) |
| 福井県 | 4日(土) 県鉄工業協同組合連合会親善ゴルフ 9日(木) 定例三役会・役員会 24日(金) 県中央会福井県大会 25日(土) 県鋼材販売事業(協)との親善ゴルフ | |

(B)

| 都道府県 | ① 手持工事量(ヶ月) | | | ② 稼働率(%) | ③ 見積物件の傾向 | | | ④ 工場加工費(千円) | | |
|------|-------------|-----|-----|----------|-----------|----|-----|-------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 富山県 | 6～12 | 2～4 | 1～2 | 60～90 | | | ○ | | | |
| 石川県 | 6～12 | 3～6 | 2～3 | 70～100 | | | ○ | | | |
| 福井県 | 6～10 | 2～4 | 1～2 | 60～100 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 富山県 | 秋需も見られず、見積も少なく需要低迷が深刻化しており正念場をむかえている。鉄筋工事業界は材料の丸棒は殆どGCの支給で、価格交渉は加工費のみであるとのこと。いずれ手形が発行出来なくなることと、鋼材費の占める割合が多いので当業界でも、GCから材料支給であれば、価格交渉は加工費がメインとなり、極端な指値は回避できると思われるが？ |
| 石川県 | 上位グレードは県外物件を含め山積みは来年度まで見えてきているところもある。Mグレードは来年の春まで確保。物件内容は工場や倉庫、店舗、社屋、公共物件など。見積りについては約半数は概算であり、来年度に着工予定の物件が多く含まれている。Rグレードに関しては手持ち工事量は企業にばらつきはあるものの、2～3ヶ月の手持ち工事量が確保されている。見積りについては全体的に少ない様子だが、能登地区においては災害復旧に伴う補助金関連の見積もりが多く寄せられている状況。他地域の商社による安値攻勢が強まっていることから、価格の維持が大きな課題となっている。 |
| 福井県 | 特に下位グレードでの受注量山積み共に低迷が激しく、厳しい状況が続いている。今後とも組合員同士の情報交換・相互協力が一層必要になっている。 |

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 9月分

(A)

提出日 2025年(令和7年) 10月2日

| ①全構協推進事業の現状 | | | ②支部活動状況 | |
|-------------|------------|----------------------|------------|--------------|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | | 中部支部活動・行事等 | |
| 岐阜県 | 25 日 (木) | 理事会 | 10 日 (水) | 全構協:運営委員会 出席 |
| 静岡県 | 17 日 (水) | 三役会 | 12 日 (金) | 青年部中部BC会議 |
| | 24 日 (水) | 委員会、役員会 | 16 日 (火) | 全構協:理事会 出席 |
| 愛知県 | 4 日 (木) | 女性部会 | 25 日 (木) | 鉄骨製作管理技術者 |
| | 16 日 (火) | H部会 | 26 日 (金) | } 受験準備講習会 |
| | 17 日 (水) | ハラスメントと財務のセミナー 開催 | 29 日 (月) | 中部支部WEB報告会 |
| | 18 日 (木) | 後期:性能評価申請説明会 | | |
| | 19 日 (金) | 青年部 秋季例会 | | |
| | 24 日 (水) | 青年部会 | | |
| | 27 日 (土) | 組合親睦ゴルフコンペ 開催 | | |
| 三重県 | 2 日 (火) | 青年部会 | | |
| | 17 日 (水) | 経営者向け講習会打ち合わせ(名南M&A) | | |
| | 19 日 (金) | 令和7年度後期性能評価事前説明会 | | |
| | 24 日 (水) | 第4回理事会 | | |
| | サポート 1件 | | | |

(B)

| 都道府県 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|-------|---------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 岐阜県 | 5 ~ 12 | 3 ~ 7 | 1 ~ 5 | 60 ~ 110 | | | ○ | | | |
| 静岡県 | 5 ~ 10 | 2 ~ 6 | 1 ~ 4 | 75 ~ 110 | | | ○ | | | |
| 愛知県 | 6 ~ 15 | 2 ~ 6 | 1 ~ 6 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 三重県 | 8 ~ 11 | 2 ~ 6 | 0.5 ~ 2 | 90 ~ 110 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 岐阜県 | <ul style="list-style-type: none"> ・商社による標準単価を度外視した安値受注などから、値崩れの様相を呈する。 ・近郊にできた大手企業による採用で、ますます人材確保が困難に。 ・相変わらず図面の決まりも悪く、単価も仕事量も少ない。 |
| 静岡県 | <ul style="list-style-type: none"> ・来年の見積もりもちらほら出てはきたが、中小物件が中心で大型物件は地場では少なくなりそうだ。 ・安値競争が激化している。販管費どころか製造原価さえ割ってネゴしている業者がいる。 ・適正価格を守ることに。 ・来年以降の仕事量が確保できていない状況、次年度の案件確保も含めて営業活動していく。 ・見通しはあまり良くなく、不透明である。 ・7月後半から8月初旬に掛けて、仕事の切れ間で休業状態であった。例年になく夏場の状況である。酷暑であり、従業員は暑さを避けられるが、経営的には厳しい夏である。 ・年内は仕事が入っているが、見積りは少なく来年の仕事は決まっていない。物件の量が少ないような気がする。 |
| 愛知県 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな工事がズルズル延び、来年1年間土日現場作業の耐震工事が決まりそうです。 ・仕事はあるが規模が小さくなって採算面で合わない。 ・相変わらず工期のずれで工場加工に支障がでている。 ・商社やブローカー経由での安値提出が続いている。噂では加工賃は弊社受注の半値程度。 ・2026年までは当地区の物件数も多くないので、物件の取り合いが続くと見込まれ、価格下落が進むと考えられる。 ・新規物件情報は少ない。受注済み物件は建方遅延の話が多い。 ・相変わらず図面の決定が遅い。(特に付帯工事) ・先日2027年ごろの大型案件の1年延期の連絡がありました。先の案件が計画通りに動くことを切に願っています。 ・まだまだ、良くない時代が続きます。工事の遅延、中止が相次いでいます。 ・4月ぐらいまで現場工事の予定あり。 ・年内の予定の物件は受注できています。見積り依頼も年末・来年の物件も多くなってきました。 ・来年の物件の引き合いも日程調整している状況です。 ・来年も厳しい時期が続きます。 |
| 三重県 | <ul style="list-style-type: none"> ・見積物件は相変わらず少なく、2026年以降も案件が読めない。 ・2026年夏以降には仕事量の増加が期待されていたが、ここに来て状況が変わってきている。 ・全体の案件が少なく、商社案件の割合が高くなってきている。そのため価格競争が激しく、安値受注が散見されている。 ・見積提出から決定までの期間が以前より長くなってきており、いろんな面で影響が出ている。 ・県内地域間で仕事量や受注価格で格差が出ている。 |

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 10月分

(A)

提出日 2025年(令和7年) 11月4日

| ①全構協推進事業の現状 | | | ②支部活動状況 | | |
|-------------|---|---|----------------------------|---|-----------------------------|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | | 中部支部活動・行事等 | | |
| 岐阜県 | 7日(火) 24日(金) | 青年部会鉄骨技術交流会 理事会 | 27日(月) 28日(火) 31日(金) | } | 全構協:人づくり研修 青年部中部BC 合同研修会 |
| 静岡県 | 22日(水) | 三役会 | | | |
| 愛知県 | 3日(金) 4日(土) 5日(日) 14日(火) 21日(火) 23日(木) 24日(金) | M部会 青年部ゴルフコンペ 女性部会:防災体験学習 執行会議・理事会 青年部会 中央会:中小企業団体愛知県大会 出席 全鉄評:事務局連絡会 出席 性能評価工場審査 1件 | | | |
| 三重県 | 28日(火) | 全鉄評:事務局連絡会 サポート 7社 | | | |

(B)

| 都道府県 | ①持手工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|----------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 岐阜県 | 3 ~ 11 | 2.5 ~ 10 | 1 ~ 3 | 60 ~ 130 | | ○ | ○ | | | |
| 静岡県 | 5 ~ 9 | 1 ~ 5 | 1 ~ 3 | 70 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 愛知県 | 7 ~ 12 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 50 ~ 110 | | ○ | | | | |
| 三重県 | 8 ~ 11 | 2 ~ 6 | 1 ~ 2 | 90 ~ 115 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 岐阜県 | <ul style="list-style-type: none"> ・生成AIにより、施工図発行。そんな時代が既にある？情報収集の視野を拡げていかなくては。 ・景気が悪く、特になし。 ・見積物件が少なく仕事量も薄い。 ・2月以降は空いている。 |
| 静岡県 | <ul style="list-style-type: none"> ・見積もりは出てきてはいるものの来年の受注が決まってこない状況。指値が低いので受注には十分考えて赤字とにならないよう注意願いたい。 ・安値競争が激化している。販管費どころか製造原価さえ割ってネゴしている業者がいる。 ・適正価格を守ること。 ・来年度の山積みが埋まっていけない。まだ今期も残っているが、先を見て営業していきたい。 ・仕事量が今までにないくらい落ち込んでいる感じがする。 ・今年の鉄骨事業の見込みは、去年の秋口から言われていたが、悪いと言われており、肌感覚もそのとおりと感じている。仕事はあっても単価や納期に余裕がなく、また、最賃(最低賃金等の上昇)の影響で、企業としての存続にも影響がある。黒船的に外圧と内政では、政治に安定感もなく、企業の設備投資意欲も奮っていない状況で、我々の業種に明るい展望が見えない状況である。堪えるしかない状況かと思うが、景況感の見込みの上方への上昇を願っている。伊豆地域の観光業も日帰り客等で観光関連事業者への恩恵も見えにくい。 ・来年の仕事が少なく心配である。見積依頼も多少はあるが、具体的には進んでいない。 |
| 愛知県 | <ul style="list-style-type: none"> ・年内の予定の物件は受注できています。見積り依頼も来年の物件も多くなってきました。 ・来年2月くらいまでは80%程度は受注できています。2月以降も見積り・日程調整している状況です。 ・2026年は今のところ受注量は多くなく今年と同じように山谷の多い一年になりそうです。 ・26年も工事の発注状況は良くないと思う。27年の工事予定が予定通りに進んでくれる事を願っています。 ・昨年度の鋼材使用量が1割減になったとの話ですが、今年はさらに1割減となるようです。来年も引き続き仕事薄が続きます。 ・中国製の鋼材を支給した場合、製作可能なのか問い合わせがあった。 ・一般鉄骨は2月建方までですが駅の改修やマンションの小鉄骨で年内満腹状態です。 ・来年は延期され11月に重なっていた2物件の片方が再度延期になり両方ともできそうです。 ・25年と同じく26年も中部地区は案件数が少ない。 ・来年の物件の情報が出ている。 <p>【要望事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外製のBHやBCP製品の起用物件が多くなっている。国内産業を守る意味でも、海外の加工業に大臣認定を出すのを控えるよう、国に対して働きかけできないものではないでしょうか。 |
| 三重県 | <ul style="list-style-type: none"> ・鋼材価格等材料費は下落傾向にあるが、物件情報が少ないことから受注競争は激しく、受注単価も下がってきている。 ・Hグレードは山積みはそれなりに確保されているが、20～50tクラスの中小規模の案件が少ないことからM以下のファブは厳しい。 ・大手の見積りに明らかに下期や来期の予算取りのための見積り依頼があり、実効性が不透明であることから見積りを鵜呑みにはできない。 ・今後の見通しも不透明で、2026年度後半以降は期待できない状況。 |

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和 7年 9月分)

提出日 令和 7年 10月 6日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|---|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 近畿支部活動・行事等 |
| 滋賀県 | ・9/9 中央会創立70周年記念大会 ・9/10 理事会、認定工場部会、東京製鐵プレゼン勉強会、賛助会員PR活動 ・9/19 けんせつみらいフェスタ前日準備、・9/20 けんせつみらいフェスタ出展 | 9/18 近畿整備局との意見交換会 9/18 第2回近畿支部会 9/18 共済事業推進会議 |
| 京都府 | 9/10工場サポート・RJ会交流会9/19京都市陳情・青年部役員会9/25京都府陳情9/27京滋ゴルフコンペ交流会9/29青年部レクレーション | |
| 大阪府 | ・9/2南支部会 ・9/10第2回技術委員会 ・9/24第2回市内支部会 ・9/25北支部会 | |
| 兵庫県 | ・9/3 兵庫県自由民主党県議との意見交換会 ・9/9 後期性能評価説明会 ・9/26 三役会、臨時理事役員会 | |
| 奈良県 | 9/8 第2回共済・経営近代化委員会 9/9 第6回三役会、第4回理事会 9/29 第2回南和支部会 | |
| 和歌山県 | 9/17 後期性能評価申請勉強会 | |

(B)

| 都道府県 | ①手持ち工事量(カ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|-------------|-------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 滋賀県 | 4 ~ 12 | 1 ~ 5 | 1 ~ 2 | 60 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 京都府 | 7 ~ 12 | 3 ~ 6 | 0 ~ 3 | 60 ~ 100 | | ○ | | | | |
| 大阪府 | 6 ~ 14 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 40 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 兵庫県 | 4 ~ 12 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 30 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 奈良県 | ~ | 3 ~ 6 | 1 ~ 3 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 和歌山県 | 6 ~ 12 | 1 ~ 5 | 0 ~ 2 | 40 ~ 100 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 滋賀県 | 各社共、受注物件の先行製作や同業者間の製作協力、付帯工事や改修工事の受注などで稼働率の維持や収益確保に取り組んでいるのが実態。工期延期や予算不足による計画見直しも散見される状態で新規案件の動きも不透明、中小案件の動きも相変わらずさえない。動いている案件は大型中心で、依然として延期や変更、中止案件もあり、需給環境は良くない。厳しい需要環境が続いているが『来年後半から回復時期に向かう』との見方が多く、当面は需要・単価共我慢の時期が続くと思われる。 |
| 京都府 | 見積の数は増えているが、単価を上げ受注するのは難しい。現在決定している仕事以降の物件が決まるかが心配である。特別な動きがない。今後も物量は期待できない。鉄骨建築のみならず全般的に設備投資の兆候が低迷している様に感じる。大阪IRが建築工事の起爆剤になったとしても郡部においては経済回復まで相当な時間を要すると思われる。鉄骨需要は非常に厳しい。採算割れ物件ばかりで良くなる要素がない。 |
| 大阪府 | 先月と同様に目先の物件量は、決して豊富にあるとは言えないが、少し先を見通すと(少なくとも半年以上先)少しずつ建築需要量が増えてくる模様。その中でも、予算が合わないため工期がずれたり、建物の規模を縮小側に見直したりとスムーズに進まないケースも散見される。また、木造志向の傾向も我々にとっては脅威である。今後もう少し、強いては年末年始の過ごし方、耐え忍ぶ工夫が必要とされるのでは。 |
| 兵庫県 | 仕事量は薄く、商社からの指値も赤字覚悟となるような水準である。企業によって抱えている仕事量にかなりの差がついているが、大抵は年内までしか見えておらず、来年以降はより厳しい状況と予想される。IR関連で少しは仕事が出ているが、鉄骨需要量が回復しないと厳しい。 |
| 奈良県 | お盆から年内に掛けて、物件の量や見積り案件が、激減している状態が続いています。「年内にまとまった仕事が無い」「年内の稼働率が低い」などの意見も多く見受けられます。2026年から動き出しそうであり、また、来年の見積もりはそこそこ出て来ているようにも感じます。 |
| 和歌山県 | 県内状況は前月までと変わらず、公共・民間ともに動きが見えない。少ないパイの取り合いのため、客先の厳しい指値に対しても抵抗できず、安値での受注を強いられているとの話も聞く。上位ファブでは、工場稼働率が少しずつ改善しつつあるが、協力ファブが潤うところまではいっていない。下位グレード・ノングレードは厳しい状況が続いている。 |

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和 7年 10月分)

(A)

提出日 令和 7年11月5 日

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|---|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 近畿支部活動・行事等 |
| 滋賀県 | ・10/15認定工場部会 | 10/6・10/7鉄骨管理技術者2級講習会 10/8・10/9鉄骨管理技術者1級講習会 |
| 京都府 | 10/10工場審査10/15工場審査10/16四役会10/27臨時役員会 | |
| 大阪府 | ・10/10TKゴルフ大会・10/10工場審査・10/14工場審査・10/16運営共済事業委員会 ・10/22定例理事会・10/29東支部会、南支部会・10/30北支部会 ・10/27全国鉄骨評価機構事務局会議(リモート) | |
| 兵庫県 | ・10/1 工場審査 1社 ・10/15 第2回運営委員会 ・10/24 第2会教育技術委員会 ・10/28 第3回三役会 ・10/27 第3回 理事役員会 | |
| 奈良県 | 10/14 第3回教育・認定事業委員会、10/16 青年部会レーザークリーナー勉強会、10/24 全鉄評Web会議、10/27 三役会 | |
| 和歌山県 | 10/6近代化委員会 ・50周年記念旅行協議 10/24性能評価事業に関する説明会(zoom視聴) | |

(B)

| 都道府県 | ①手持ち工事量(カ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|-------------|-------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 滋賀県 | 4 ~ 12 | 1 ~ 5 | 1 ~ 2 | 60 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 京都府 | 6 ~ 12 | 3 ~ 7 | 1 ~ 3 | 60 ~ 100 | | ○ | | | | |
| 大阪府 | 6 ~ 13 | 2 ~ 6 | 1 ~ 3 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 兵庫県 | 4 ~ 12 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 30 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 奈良県 | ~ | 3 ~ 5 | 1 ~ 3 | 60 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 和歌山県 | 6 ~ 12 | 1 ~ 5 | 0 ~ 2 | 40 ~ 100 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 滋賀県 | ・本来なら秋から需要期に入るのが例年の傾向なのだが、需要動向は相変わらず好転しておらず、目立った物件などの話は聞かれない。・この状況はしばらく続く見込みで、県外業者の参入などもあり、受注競争は激しく価格も下落しており年末に向け不安要素ばかりで、さらに厳しい状況になる見通し。・工程ずれで仕事量が一時的に山高となり、他社に加工応援を依頼せざるを得ないことも少なくないと聞く。・一部足元の見積が増えてきたとの声もあり、年明け以降に状況が好転することを期待している。 |
| 京都府 | 見積案件少なく先行き不透明が続いています。予定案件も図面が出ず1~2カ月の工期のずれが出ており抜けたあなを埋めたいが難しい。決定物件以降は未確定、先行き不透明。仕事の受注の為低価格で推移しているように見受けられる。プロジェクトの予定は聞くが、具体的な引き合いは無い状況。これらが動き出すと2026年後半は忙しくなりそうですが、まだ具体的な動きが無い為、何とも言えない状況です。 |
| 大阪府 | スクラップの値は下がり気味、電炉材は需要減に伴い値下げ傾向ではあるが、来年にかけては値を上げる巻き返しがあるのか。中小物件は、少しずつ出てきているような話も聞かれる。、来年の見通しとしては、物流倉庫はまだ健在で、大型工場、データセンターや大阪IR関連工事の着手に期待がかかる。今は、数少ない物件を分け合い、協力し合う体制が必要か。 |
| 兵庫県 | 状況に大きな変化はなく、鉄骨需要量も昨年と同程度となることが見込まれ、来年もあまり回復のめどは立っていない。人件費を含めたコストは高止まりしたままであり、結果として単価を上げざるを得ないが、高いと仕事がとれないというジレンマを抱えている。来年の末くらいにはいくつかの案件が見えては来ているが、前倒しになることを願うのみである。 |
| 奈良県 | 見積もり物件は少なく、鉄骨単価が一段と下がったように感じます。納期についても相変わらず、厳しい状況が続いています。10月の時点で、年内生産は100%確保が出来ています。来年の仕事量が確保出来ておらず、不安です。少し小口では有るものの、案件が出て来たような気がします。 |
| 和歌山県 | 県内状況は、厳しい状態が続いている。年内はこのまま推移しそう。来年以降の案件も見えてこない。県外案件を加工する上位ファブは、来年の夏以降までの物件をキープしているようだが、協力ファブを巻き込んだフル稼働には届いていない。商社案件を中心に安値の物件が見られ、利益確保に苦心している。 |

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年)9月分

(A) 提出日 2025年(令和7年)10月10日

| ①全構協推進事業の現状 | | | ②支部活動状況 | |
|-------------|------------|----------------------------|------------------------------------|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | | 中国支部活動・行事等 | |
| 鳥取県 | 17日(水) | 「鳥取県技能祭」第2回実行委員会 | 10日 全構協:第4回運営委員会 16日 全構協:第5回理事会 | |
| | 26日(金) | 東部支部合同例会 | | |
| 島根県 | 5日(金) | 溶接技術競技会表彰式及び壮行会(松江市) | | |
| | 16日(火) | 工場審査説明会 1社(出雲市) | | |
| 岡山県 | 19日(金) | 全国R・Jグレード部会連絡会(株)サンベルコ工場見学 | | |
| 広島県 | 13日(土) | 鉄骨製作管理講習会(1日目) | | |
| | 14日(日) | 鉄骨製作管理講習会(2日目) | | |
| 山口県 | 9日(火) | (後期)性能評価事前説明会 | | |
| | 24日(水) | 三役会議 | | |

(B)

| 都道府県 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|-------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 鳥取県 | 4 ~ 16 | 2 ~ 6 | 1 ~ 2 | 70 ~ 120 | | ○ | | | | |
| 島根県 | 6 ~ 7 | 2 ~ 3 | 1 ~ 2 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 岡山県 | 6 ~ 14 | 1 ~ 6 | 3 ~ 8 | 80 ~ 100 | | ○ | | | | |
| 広島県 | 11 ~ 13 | 4 ~ 7 | 1 ~ 3 | 60 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 山口県 | 1 ~ 6 | 0 ~ 5 | 0 ~ 3 | 40 ~ 100 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 鳥取県 | 県内物件の仕事量として、中西部に於いて公共・民間工事の大型物件の発注があり、秋から来年の春先までの鉄骨需要が出ているところもあるため、県内FAB同業社の品質・加工能力を併せ持った協力体制の保持に努めていく姿勢が伺える。他にも、年末に向けて改修工事等も多く忙しくなっているようではあるが、受注単価は低く苦慮している。各社とも安価物件は慎重に対応している様子。 |
| 島根県 | Hグレードでは、秋以降から来春に向けての工事が多く出ており、特に年末年始に集中し現場対応が難しい状況になりつつある。Mグレードでは、見積りは徐々に増えているものの受注へと繋げられず苦戦している状況である。Rグレード以下については、9月くらいまでは何とか仕事量を確保出来ているが、上位グレード同様に先行きは不透明な状況である。 |
| 岡山県 | 繁忙期に入り仕事量が少しずつ動き出したように感じます。ただ例年に比較すると大変厳しい状況にあり、都心を顧客とするHグレードにおいても一部では100%稼働を割る状況となっています。結果として価格的にも厳しい状況となりつつあり、たたき合いの様相もちらほらと見えてきています。稼働率を稼ぎたい本音はありますが、それよりしっかり仕事を選ぶ、顧客を選ぶ事が大事であり、礼節を欠く商社の仕事を排斥する気持ちが必要と考えます。 |
| 広島県 | ・稼働率については、9月調査対象のH・Mグレードの工場はすべて90%以上、Rグレード以下の工場も半分以上が90%以上と回答しており、物件が少ないと言われる中で、改修や建築物、応援物件なども含め、高い稼働率を維持している工場が多い。 ・手持ち工事量と見積物件については、Hグレードが、手持ち工事量は11月以上、見積物件は「多い」と回答しているのに対し、Mグレードでは、手持ち工事量は4~7月、見積物件は「普通」と「少ない」がほぼ同数、Rグレード以下では、手持ち工事量1~3月、見積物件はほとんどが「少ない」と回答しており、グレードや営業範囲等による格差がこれまで以上に顕著となっている。 |
| 山口県 | ・Hグレード…今月は「そこそこ重量のある物件に取りかかり稼働率と加工重量はまずまずな状況」や「核となる案件が無く他社応援案件のみで生産量は低迷しているが、秋から春先までは確定案件があり工場稼働率も上がる見込み」との声がある。見積は2026年9月~12月建方見積と2027年の大型案件見積が多い等、徐々に増加傾向にあるが2026年~2028年にかけての案件である。来年の仕事量も今年同様に少ないようで、再来年の話が出てきても未確定物件がほとんどで明るい兆しが見えず不安状態が消えない。また、大型案件はとてつもない金額になっている。 ・M・Rグレード…「仕事量が減少傾向、製作中断した物件の再開が見込めず、仲間からの依頼工事や小口工事を細かく集めて稼働」や「工場の設備投資と公共工事で現状忙しい、ほぼ残業する必要は無いが順調な稼働状況が続いている」との声がある。運搬費の値上がりや稼働率が回復しても利益率が回復しない等、価格が厳しいとの意見が多い。先行き不透明感が強く、鋼材市況と来春以降の物件の状況を注視している。 |

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年)10月分

提出日 2025年(令和7年)11月7日

| ①全構協推進事業の現状 | | | ②支部活動状況 | | |
|-------------|------------|-------------------------------|------------|------------------|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | | 中国支部活動・行事等 | | |
| 鳥取県 | 8日(水) | 東部支部例会(竹島鉄工建設工場見学) | 1日 | 第3回中国支部会(岡山市) | |
| | 19日(日) | 鳥取県技能祭 | 24日 | 全鉄評:事務局連絡会(Web) | |
| | 23日(木) | 第18回鳥根県・鳥取県交流会(倉吉市) | 27日 | 第3回事務局意見交換会(Web) | |
| | 24日(金) | 鳥根県・鳥取県交流会 懇親ゴルフコンペ(大山) | | | |
| 鳥根県 | 4日(土) | 溶接技術競技会全国大会(富山県) | | | |
| | 5日(日) | 溶接技術競技会全国大会(富山県) | | | |
| | 16日(木) | 役員会(浜田市) | | | |
| | 23日(木) | 鳥取県鉄構工業会・鳥根県鉄構工業会 交流会(鳥取県倉吉市) | | | |
| | 30日(木) | 青年部会役員会(浜田市) | | | |
| 岡山県 | 10日(金) | 第3回理事会 | | | |
| 広島県 | 10日(金) | 組合 第5回三役会・第4回理事会 | | | |
| | 17日(金) | 青年部幹事会 | | | |
| | 20日(月) | 新入会員説明会 | | | |
| | 28日(火) | 性能評価事前勉強会 | | | |
| 山口県 | 30日(木) | 全鉄評任意評定(Web) | | | |

| 都道府県 | ①手持工事量(ヶ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|--------|-------|----------|----------|----|------------|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 鳥取県 | 4 ~ 15 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 80 ~ 120 | | | ○ | | | |
| 鳥根県 | 9 ~ 10 | 3 ~ 7 | 1 ~ 2 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 岡山県 | 5 ~ 14 | 1 ~ 6 | 3 ~ 9 | 50 ~ 100 | | | ○ | | | |
| 広島県 | 5 ~ 12 | 3 ~ 12 | 0 ~ 6 | 50 ~ 100 | | | ○ (50%) | | | |
| 山口県 | 1 ~ 10 | 0 ~ 4 | 0 ~ 3 | 10 ~ 100 | | | ○ | | | |

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 鳥取県 | 手持ち工事量・稼働率・見積物件の件数とも、格差が続いている。年度末にかけて中西部では大型物件(2000トン~400トン)の発注があり、東部では年末にかけて中規模程度(400トン)の発注が見込まれる事に期待している。見積物件の傾向としては少し減ってきているようだ。大型物件の話はあるようだが具体化していない状況なので、物件情報の傾向と動向を厳しく注視しながら各社とも稼働率の維持に専念している。 |
| 鳥根県 | Hグレードでは、年末年始に向けて県内物件が集中し、それ以降は県外物件を中心に受注しており手持ち工事量は増えつつある。Mグレードでは、年内の稼働状況は引き続き低調ではあるが、年明け後は徐々に工事量も増えてくる見込みである。Rグレード以下については、年内は何とか仕事量を確保出来ているが、年明け後は決まった物件もなく不透明な状況である。 |
| 岡山県 | 年末に向けて各社繁忙になりつつあるが、例年と比較すると山積が低い状況にあります。個社ごとに状況は違いますが今年の冬の厳しさは相当なものであります。都心の需要を考えれば一過性の問題とも考得る事が出来ませんが数年前の好調期に行った設備投資が足かせとなる会社も見られます。どの業界も同じと思いますが常に謙虚気持ちで仕事を続ける事が肝心であると改めて感じられました。 |
| 広島県 | ・稼働率については、MグレードとRグレードの一部に50%程度と低い稼働率の工場も散見されるが、Mグレードから未認定の工場まで、応援物件や建築金物による稼働を含め、80%以上の稼働率を維持している工場が大半(80%近く)である。 手持ち工事量と見積物件については、依然として地場物件、中小物件が少ないため、見積物件については、H・Mグレードの多くが普通、R・未グレードの多くが少ないと回答しているが、仕事の山谷がありすぎるとの声はあるものの、手持ち工事量については、Mグレードで12ヶ月後、Rグレードで6ヶ月後までの仕事を確保している工場もある。 |
| 山口県 | ・Hグレード…稼働率は良好と話すファブと図面承認が遅い等の理由で稼働率が40~50%程度と話すファブがいる。先月よりも見積案件が少なく、有っても相変わらず2~3年先の計画見積で、計画通りに出たら2027年頃は工事が集中するのではないと思われる。来年の工事を色々あたっているが、仮に情報を貰っても遠方だったり激安単価だったり手が出せない状態。当面の間は「案件が無いことはないが、少ない」状況が続き、来年後半の見通しが暗いため不安が消えないと話すファブもいる。 ・M・Rグレード…前月に引き続き仲間の応援案件や小口工事、現場工事で稼働率を確保している様子で、現状は「忙しい」や「人手不足」との声が多い。一部のファブは見積件数も増加傾向で来年春頃まで忙しい見込みと話す。多くのファブが手持ち工事量は年内までで新年~3月までの見通しがはっきりしていない状況。今後は仕事があっても小規模工事で、予算取りの見積も受注の可能性が低いと話すファブもいる。また、今期に資金の見直しを検討したいが、見合った売り上げを確保することが急務との声もある。 |

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年)9月分

| ①全構協推進事業の現状 | | 提出日 令和7年10月15日 |
|-------------|--|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | ②支部活動状況 |
| 徳島県 | 9日(火)情報交換会 9日(火)、10日(水)非破壊検査技術者 UT-1学科 9日(火)、10日(水)、16日(火)、18日(木)、19日(金)建築鉄骨検査(新規実技) 16日(火)、18日(木)、19日(金)、25日(木)建築鉄骨検査(更新実技) 16日(火)～18日(木)非破壊検査技術者 UT1直前勉強 | ◇四国支部会 日時:9月18日(木) 場所:香川県宇多津町ホテルアネックス瀬戸大橋 議事:①全構協理事会報告 ②全構協各委員会報告 「人づくり研修会」受講者募集開始 「鉄骨技術に関わる助成制度成果」 報告会について ③三支部合同理事長会協議事項 について ④日本非破壊検査協会四国支部 事業における「四国高校生溶接 コンクールWG」の編成について ⑤生命共済・損害保険の勉強会 ◇鉄骨製作管理技術者講習会(1,2級) 日時:9月18日(木)～19日(金) 場所:香川県宇多津町ホテルアネックス瀬戸大橋 以上 |
| 香川県 | 29日(月)各委員会開催 | |
| 愛媛県 | 27日(土)青年部例会、協賛店親睦ゴルフコンペ | |
| 高知県 | | |
| | | |

| 都道府県 | ①受注物件件数(カ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|-------------|-------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 徳島県 | 4 ~ 8 | ~ 2 | 1 ~ 2 | 70 ~ 110 | | | ○ | | | |
| 香川県 | ~ | 3 ~ 7 | ~ | 80 ~ 110 | | | ○ | | | |
| 愛媛県 | 3 ~ 8 | 3 ~ 7 | 2 ~ 5 | 80 ~ 110 | | | ○ | | | |
| 高知県 | 5 ~ | 2 ~ 6 | 1 ~ 3 | 70 ~ 100 | | | ○ | | | |

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 徳島県 | 以前より見積りが増えていると感じているところもあるが、全国的に仕事量が少ない状態が続いており、単価が上がらない。予定していた物件が延期になって谷間ができたり、延期になっていた物件が動き出したとたんに施工図を急がされたりと仕事の進め方に苦慮している。もの決め工程表に従って余裕を持って品質を確保したいものである。 |
| 香川県 | 設計見積り・ゼネコン見積り共に少ない状況が続いている。しかし、組合員間の協力などで稼働率に格差はあるものの一定程度の仕事量は確保している。一方、需要の低迷が続く中、価格面では低下傾向にある。 |
| 愛媛県 | 県内中小物件が中心のR・Mグレードでは年明～来年4月頃まで受注量を抱えるところが多く、県内物件は少ないと言われている割には目先の仕事に左右される必要がない程には仕事量が確保されている。Hグレードでも来年4月頃までの成約分と今はその先の話を進めている状況であるが、無理に山積みを増やそうとバタバタはしてはならず、「受注単価については頑張っている」状況かと。 |
| 高知県 | 先月と同じ状況が続いておりFAB格差はあるものの全体的に見積物件数は少ない状況が続いている、稼働率は組合員間協力によりある程度は保たれている。 |

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 10月分

提出日 令和7年11月6日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|--|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 四国支部活動・行事等 |
| 徳島県 | 6日(月)性能評価サポート(1工場) 10日(金)～11日(土)親睦旅行(関西・大阪万博) 15日(水)工場審査 16日(木)情報交換会・理事会 3日・9日・10日 建築鉄骨検査技術者(新規・更新) 15日・16日・17日 鉄骨製作管理技術者直前勉強・溶接管理技術者2級 | ◇四国支部会/四国支部共済推進会議/ 第36回四国支部交流会 15:00～17:40 日時:10月24日(金) 場所:徳島県徳島市徳島ワシントンホテルプラザ ◇四国支部会 |
| 香川県 | 15日(水)理事会 22日(水)小林理事長打合せ | ◇第36回四国支部交流会議事 ①全構協理事会報告 ②全構協各委員会報告 ③各県組合状況報告 参加者41名 |
| 愛媛県 | 3日(金)理事会 | ◇四国支部共済推進会議議事 ①全構協共済事業の概要について ②共済協会社から今年度の事業進捗状況の報告(生命共済・塗料共済・プロテクター・損害保険共済) 参加者54名(内、共済協会社13名) |
| 高知県 | 1日(水)高知県高等技術学校講習会内合わせ | 以上 |

(B)

| 都道府県 | ①受注物件件数(カ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|-------------|---------|-------|----------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 徳島県 | 3 ～ 7 | 0.8 ～ 2 | ～ 3 | 70 ～ 120 | | | ○ | | | |
| 香川県 | ～ | 3 ～ 5 | ～ | 90 ～ 110 | | | ○ | | | |
| 愛媛県 | 2 ～ 7 | 2 ～ 6 | 1 ～ 4 | 80 ～ 110 | | | ○ | | | |
| 高知県 | 5 ～ | 2 ～ 5 | 1 ～ 3 | 70 ～ 100 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|---|
| 徳島県 | 県内の仕事は相変わらず少なく、加工単価も下がって注意が必要、来年にかけての仕事量の確保に苦労しそうで最大限の努力が必要である。見積りで鉄骨は高いと言われる。建家の仕事が少なく、雑工事や橋梁金物が主になっているところもある。 |
| 香川県 | 依然として、ゼネコン・設計見積もりとも少ない状況が続いている。自社物件と他社加工協力で年内は多忙のFABもあり、全体の工場稼働率は100%程度を維持している。しかし、年始以降の見通しは不透明である。 |
| 愛媛県 | 現状、稼働率はグレードに関係なく、「定時、80～100%、一部工場の残業で110%」と平均的である。また、「建築鉄骨は定時、製缶部門は1時間残業」と受注に偏りが無い生産体制を築く工場もある。今後の状況では、県下中小物件では良いとまではいかないが、前年同期との比較では受注量は確保しており、特に東予東部地区においては製紙産業関連の工場、倉庫等の仕事が多く、山積みを抱えて安定している。 |
| 高知県 | 先々月、先月と同じ状況で全体的に見積物件数は少ない状況が続いている、稼働率は組合員間協力によりある程度は保たれている。 |

＜九州支部＞ 状況報告書

2025年度(令和7年度) 9月分

(A)

提出日 令和 7年 10月 2日

| | ①全構協推進事業の現状 | ②支部活動状況 |
|------|--|---|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 九州支部活動・行事等 |
| 福岡県 | ・9/1 技術委員会打合せ(WEB) ・9/2 経営対策委員会打合せ(WEB) ・9/3 性能評価工場認定説明会 ・9/4 鉄骨製作管理技術者学科講習会講師との打合せ ・9/11 設計業務に関する意見交換会 ・9/17 理事会、例会(労働災害に関する勉強会) ・9/16.19.26 建築鉄骨超音波実技(新規・更新)講習会及び試験 立会い ・9/20 鉄骨製作管理技術者学科講習会 事前準備 ・9/22～24 鉄骨製作管理技術者学科講習会 ・9/22 特別検討委員会 ・9/29 九州支部事務局WEB会議 ・9/30 福岡県建築鉄骨協議会運営委員会 | ・9/8 全構協九州支部 第5回支部事務局Web会議 ・9/29 全構協九州支部 第6回支部事務局Web会議 |
| 佐賀県 | 9/5・6 組合・賛助会員との合同研修会(万博見学) 9/11 中央会九州大会参加 9/26 長崎・佐賀合同研修会 | |
| 長崎県 | 9/4～5 NDI-UT Lv.1・2受検者向け学科講習会、9/10～11 研修旅行(大阪・関西万博他)、9/13 溶接技術講習会、9/17 総務・経営対策委員会、9/20 県溶接技術競技会 参加、9/26 理事会・例会・佐賀県との合同研修会・交流会、9/29 建築鉄骨研究会 出席 | |
| 熊本県 | 9/3 理事会・定例会・引合、月報報告講習会 9/4、26 認定サポート部会 9/12 青年部会「AI活用セミナー」 9/18～20 大坂関西万博研修旅行 | |
| 大分県 | 9/3JSCA大分と組合三役交流会 9/11,12UTレベル1学科試験対策講習(ポリテク大分にて) 9/18三役会、理事会、FAB・MOT講座、懇親会 | |
| 宮崎県 | 9/18 第3回幹事会開催 9/19 三役会議開催 9/27 鹿児島県との交流会(ゴルフ・懇親会) | |
| 鹿児島県 | 9/19・20焼抜き栓溶接講習会 9/26宮崎県鉄構工業会との交流会 | |
| 沖縄県 | ・9/9:定例理事会、10日:建設業の働き方改革に関する労働時間説明会、 22日:建産連役員会、24日:営業部会 | |

(B)

| 都道府県 | ①手持工事量(カ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|-------|-------|---------|----------|----|----|------------|---------|----------|
| | H | M | R・J | | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) |
| 福岡県 | 2 ~ 8 | 1 ~ 4 | 1 ~ 2 | 70~100 | | | ○ | | | |
| 佐賀県 | 5 | 1 ~ 6 | 1 ~ 3 | 60~100 | | | ○ | | | |
| 長崎県 | 4 ~ 12 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 35~100 | | | ○ | | | |
| 熊本県 | 7 ~ 8 | 3 ~ 7 | 3 | 89.7 | | | ○ | | | |
| 大分県 | 5 ~ 6 | 3 | — | 60~100 | | ○ | | | | |
| 宮崎県 | 5 ~ 10 | 2 ~ 9 | 1 ~ 2 | 75~100 | | ○ | | | | |
| 鹿児島県 | 4~10 | 1~7 | 1~3 | 50~100 | | | ○ | | | |
| 沖縄県 | 1 ~ 2 | 1 ~ 2 | 1 ~ 2 | 50~80 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 福岡県 | ・先月同様に工場稼働率が徐々に上がってきている状況だが、現状の受注金額は非常に厳しい状況 |
| 佐賀県 | ・工事量、見積り共にかなり少ない。この先も厳しい状況が続く。 ・受注が少なく工場に空きが出て稼働率が下がっている。単価の安い物件が出回っている。 |
| 長崎県 | 前回同様厳しさが増強されているようですが我慢の一言です。 |
| 熊本県 | 見積りが少ない。公共工事が多少出て来た。 中小物件が少ない。人材が不足している。 単価が下がってきている。 |
| 大分県 | ◎図面承認が遅く、工場稼働率や現場工程にかなり影響が出ている。見積りが少なく来年の予定がたっていない。先行き不透明。◎年内の山はまだ低い。低価格になっている。◎指値が厳しい状況は変わらないが、見積数が増えて、受注物件も増えつつある。 |
| 宮崎県 | ・先月同様にHグレードの需要が増加していることから、製作協力会社としてMグレード以下の工場も稼働率が上がってきている。 ・中小物件については今後も需要回復が見込まれないことから、情報を共有し価格維持と山積みの平準化を図る事が大事。 |
| 鹿児島県 | 見積りも出始め忙しくなってきたが、価格は下落傾向。来年前半まで厳しい状況が続くと見込まれているため今後が心配である。 |
| 沖縄県 | ・躯体鉄骨や体育館等公共工事の見積もりが少しずつ出てきた。民間工事の引き合いは少ない。工場稼働率は低い。図面の変更など工程の流れが悪い。 |

＜九州支部＞ 状況報告書

2025年度(令和7年度) 10月分

提出日 令和 7年 11月 4日

(A)

| ①全構協推進事業の現状 | | ②支部活動状況 |
|-------------|--|--|
| 都道府県 | 各県組合活動・行事等 | 九州支部活動・行事等 |
| 福岡県 | ・10/8 青年部主催 九州オ一エム㈱ 勉強会及び工場見学 ・10/24 全鉄評 事務局連絡会(WEB) ・10/28.29 全構協九州支部 事務局研修会(別府) ・10/30.31 NDI-UTレベル1 実技講習会(ポリテクセンター荒尾) | ・10/7 全構協九州支部(福岡市、Web会議併用) 第4回支部理事会 第1回協議会 商社・九州支部・九州支部H部会との懇談会 ・10/27 全構協九州支部(Web) 第7回支部事務局Web会議 第3回事務局意見交換会 ・10/28-29 全構協九州支部(別府市) 事務局研修 |
| 佐賀県 | 10/3 青年部会九州ブロック 佐賀県事業 10/9 品質・安全パトロール 10/24 全鉄評 事務局連絡会議(Web) 10/30 中央会 役員会議 | |
| 長崎県 | 10/1 県建築鉄骨研究会Web打合せ 出席、10/2 検査・技術委員会、10/17 県建築鉄骨研究会打合せ 出席、10/21 県建築鉄骨研究会 専門委員会 出席、 10/24 全鉄評事務局連絡会 出席 | |
| 熊本県 | 10/16 鉄骨問題協議会 10/23 理事会 | |
| 大分県 | 10/8鉄骨製作管理技術者学科講習会 10/16三役会、理事会、認定部会(対面・WEB併用) 10/18ゴルフコンペ(8名) | |
| 宮崎県 | 10/22 第3回理事会開催 10/31 青年部会研修会(永井製作所工場見学) | |
| 鹿児島県 | 10/1青年部会役員会(Web) 10/10JSCA鹿児島地区会との合同勉強会 10/16理事会 10/24視察研修(日本製鉄北日本製鉄所釜石地区) | |
| 沖縄県 | ・10/10日:産業安全衛生大会、17:定例理事会、21日:営業部会 | |

(B)

| 都道府県 | ①手持工事量(カ月) | | | ②稼働率(%) | ③見積物件の傾向 | | | ④工場加工費(千円) | | |
|------|------------|-------|-------|---------|----------|----|-----|------------|----------|------|
| | H | M | R・J | 稼働率(%) | 多い | 普通 | 少ない | S造(H+H) | S造(コラムH) | SRC造 |
| 福岡県 | 2 ~ 12 | 1 ~ 6 | 1 ~ 2 | 70~100 | | | ○ | | | |
| 佐賀県 | 6 | 1 ~ 6 | 1 ~ 3 | 60~100 | | | ○ | | | |
| 長崎県 | 4 ~ 12 | 2 ~ 5 | 2 ~ 3 | 60~100 | | | ○ | | | |
| 熊本県 | 7 ~ 8 | 3 ~ 7 | 3 | 89.7 | | | ○ | | | |
| 大分県 | 3 ~ 5 | 2 ~ 3 | — | 40~100 | | | ○ | | | |
| 宮崎県 | 6 ~ 10 | 2 ~ 5 | 1 ~ 3 | 50~125 | | | ○ | | | |
| 鹿児島県 | 5~10 | 2~10 | 0.5~2 | 70~100 | | | ○ | | | |
| 沖縄県 | 1 ~ 2 | 1 ~ 2 | 1 ~ 2 | 60~80 | | | ○ | | | |

(C)

| 都道府県 | 現状と今後の状況の見通しについて |
|------|--|
| 福岡県 | ・今後の仕事の話はかなり出てきている状況であるが、現状の受注金額は非常に厳しい状況で先行き不透明 |
| 佐賀県 | ・依然として見積り件数が少ない。単価も減少傾向。内閣が変わったことで景気が上向けばと期待している。 ・受注予定の物件が中止となり、工場稼働率が落ち込んでいる。今後の見通しは不透明である。 |
| 長崎県 | 各社ばらつきが大きく、価格も不安定な状況。材料費は安定。各社協力・我慢が必要だと感じます。良い正月を目指して。 |
| 熊本県 | 見積りが少ない。公共工事が多少出て来た。 中小物件が少ない。人材が不足している。 単価が下がってきている。TSMCの二期工事に伴う工事に期待する。 |
| 大分県 | ◎多少中小物件が出てきたが見積りが少なく来年が見通せない。地場ゼネコンの指値も厳しく物件の動きが悪い。与信管理が必要 なゼネコンの噂が出てきた。◎あいかわらず図面の決まりが悪い。 |
| 宮崎県 | ・グレードによってバラツキはあるものの年度内は稼働率が高い状況にある。 ・公共、民間ともに見積りが減少しており、来年度以降の仕事量は不透明。 |
| 鹿児島県 | 11月～年明けの山積みはかなり低い。受注案件や問い合わせも来年度以降の話ばかりで、仕事量の回復はしばらく見込めない 状況。 |
| 沖縄県 | ・図面の変更など工程の流れが悪く工場稼働率は低い。概算見積りで即受注に繋がる物件が少ない。 |